

人吉市

子育て支援についての市民ニーズ調査

【結果報告書：小学生の保護者】

平成 21 年 3 月

人吉市

目次

調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査概要	2
3 報告書の見方	3
調査結果（小学生の保護者）	5
1 子どもと家族の状況について	6
2 保護者の就労状況について	12
3 学童保育（放課後児童クラブ）の利用について	18
4 病気やケガのときの対応について	24
5 一時預かりについて	27
6 宿泊を伴う一時預かりについて	29
7 ファミリーサポートセンターの利用について	31
8 仕事と子育ての両立について	34
9 子育ての不安や悩みについて	36
10 平日の過ごし方について	41
11 地域活動やグループ活動について	43
12 家庭生活について	45
13 子どもの安全について	49
14 子どもを持つことや子育てについて	52
自由回答	54

調査の概要

1 調査の目的

平成 21 年度に「人吉市次世代育成支援行動計画」を見直し、後期計画を策定するにあたり、市民の皆様の子育て支援に関する生活実態やご要望・ご意見などを把握するため、「人吉市子育て支援についての市民ニーズ調査」を実施しました。

2 調査概要

- ・ 調査地域 : 人吉市全域
- ・ 調査対象者 : 人吉市内在住の就学前児童をお持ちの世帯（就学前児童調査）
人吉市内在住の小学生をお持ちの世帯（小学生調査）
- ・ 調査期間 : 平成 21 年 1 月 5 日～1 月 31 日まで
- ・ 調査方法 : 郵送配布・郵送回収

	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者	1,485	932	62.8%
小学生児童保護者	1,500	1,011	67.4%
合計	2,985	1,943	65.1%

3 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。

図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

図表中の「SA (single answer)」は単数回答、「MA (multi answer)」は複数回答、「NA (number answer)」は数量回答を表しています。

調査結果

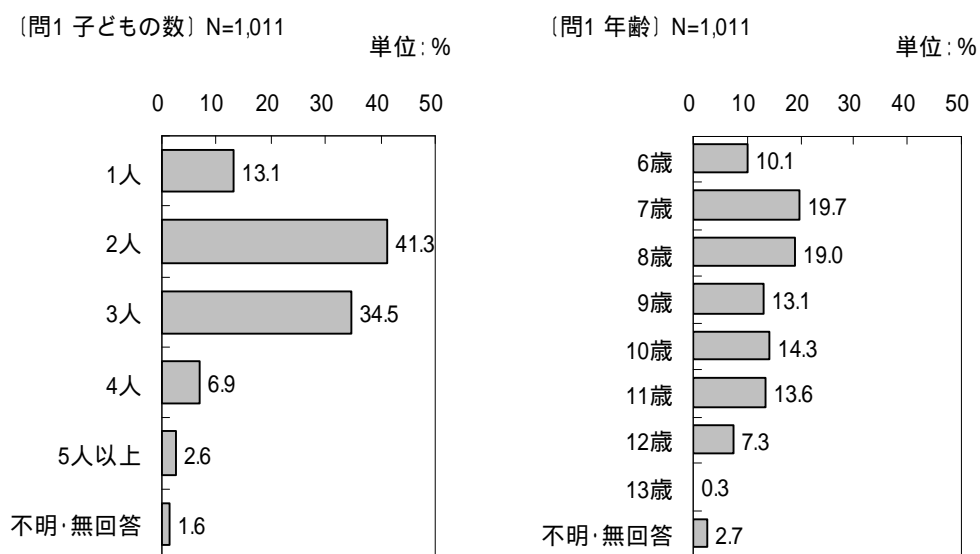
(小学生の保護者)

1 子どもと家族の状況について

問1 子どもの人数と年齢 (NA)

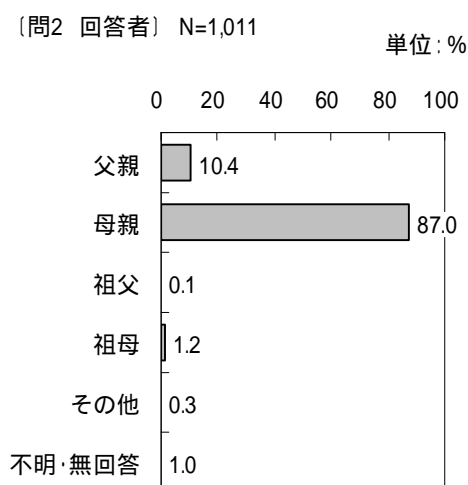
子どもの人数については、「2人」が41.3%、「3人」が34.5%と3割を超えており、次いで「1人」が13.1%となっています。

また、子どもの年齢については、「7歳」が19.7%、「8歳」が19.0%と、それぞれ約2割を占めています。



問2 調査票の記入者 (SA)

記入者については、「母親」が約9割となっています。



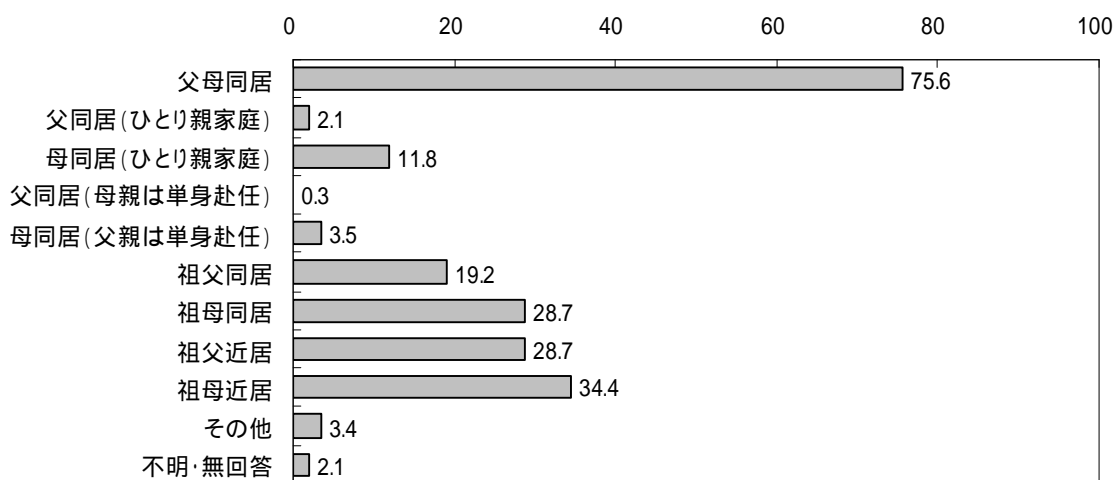
問3 子どもとの同居・近居（おおむね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況（MA）

同居、近居については、「父母同居」が75.6%と最も多くなっています。

また、父母以外の同居・近居の状況をみると、「祖母近居」「祖父近居」「祖母同居」の割合が2割以上となっています。

〔問3 同居・近居の状況〕 N=1,011

単位：%



【その他の回答】

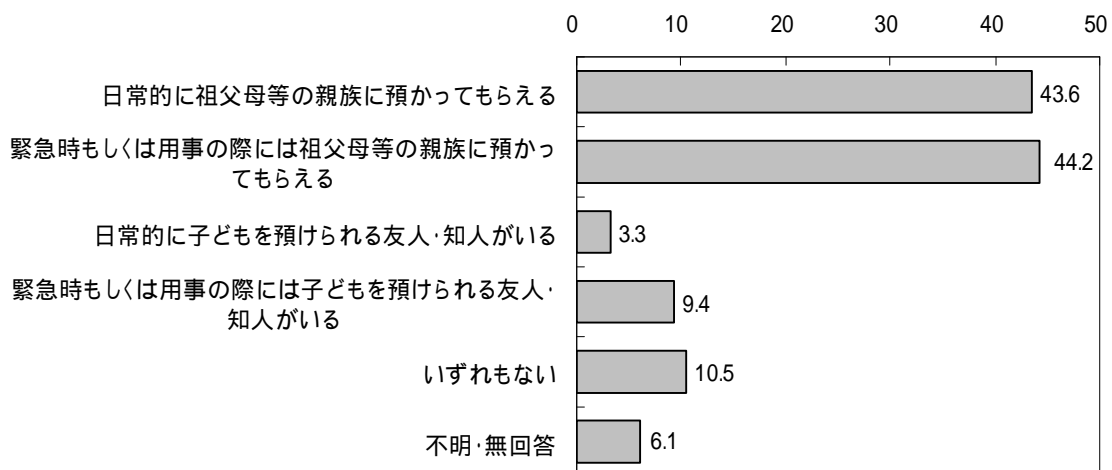
- ・ 曾祖母同居
- ・ 母の妹とその子ども2人同居
- ・ 叔母同居
- ・ 叔父同居
- ・ 義兄弟
- ・ 祖父の妹夫婦近居
- ・ 従兄同居
- ・ 祖母の兄妹、母近居

問4 日頃、子どもを預かってもらえる人の状況（MA）

子どもを預かってもらえる人については、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が44.2%、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が43.6%と、特に多くなっています。

〔問4 子どもを預かってもらえる人〕 N=1,011

単位：%



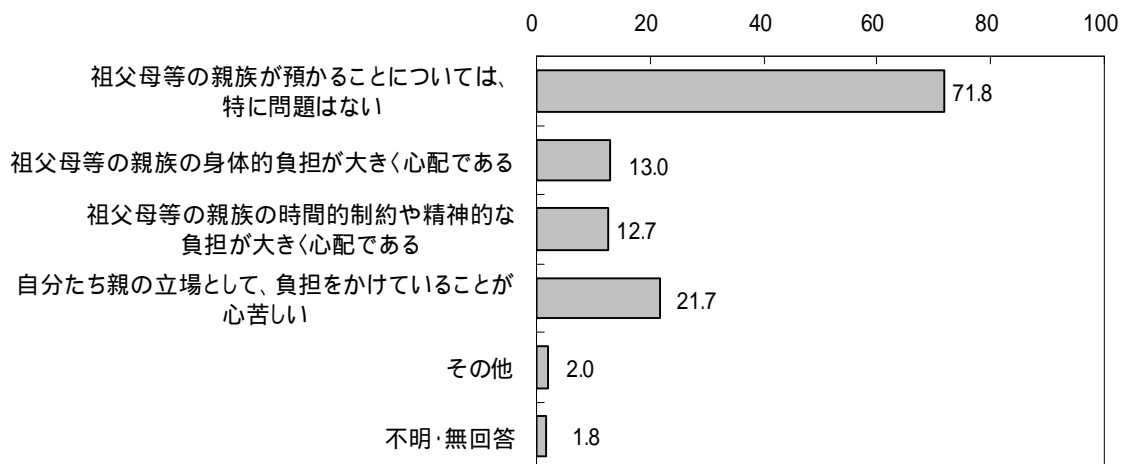
〔問4で「日常的に、もしくは緊急時に祖父母等の親族に預かってもらえる」を選んだ方〕

問4-1 祖父母等の親族に預かってもらっている状況（MA）

祖父母等の親族に預かってもらっている状況については、「祖父母等の親族が預かることについては、特に問題はない」が71.8%と最も多くなっています。

〔問4-1 祖父母に預かってもらう状況〕 N=798

単位：%



【その他の回答】

- ・ 帰宅後、祖父がいるが、身体が不自由であまり家にいないので、ほとんど子どもだけで留守番状態である。
- ・ 祖父母宅にも小さい子や高齢者がいるため、頼めたとしても申し訳ないと思います。
- ・ 母は不規則業務に就いており、早出・遅出・夜勤があり、土日祝日に休めないなので、そのたび祖父母に頼っているが、祖父母にも用があるので心苦しく思っている。
- ・ 三姉妹で預け合っている。
- ・ 問題はないが、遠くにいる。
- ・ やはり、文句は言われることもある。
- ・ 祖母が仕事をしているので心苦しい。
- ・ 発達障害があり、相手をするのが難しい。
- ・ 預かってもらえる状況にはあっても、預けることはほとんどない。

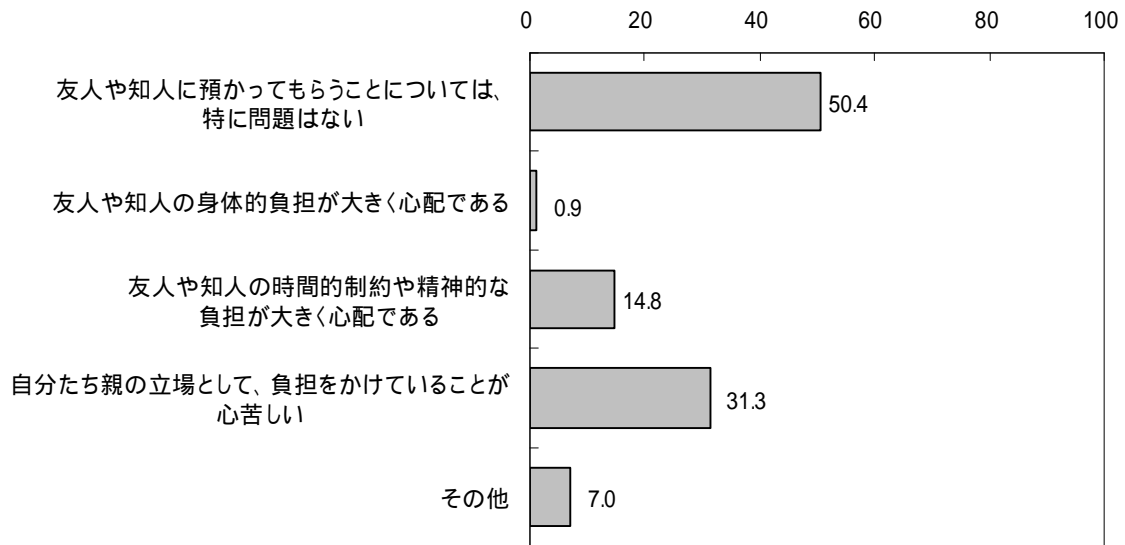
[問4で「日常的に、もしくは緊急時に友人・知人に預かってもらえる」を選んだ方]

問4-2 友人や知人に預かってもらっている状況 (MA)

友人や知人に預かってもらうことについては、「友人や知人に預かってもらうことについては、特に問題はない」が50.4%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が31.3%となっています。

(問4-2 友人・知人に預かってもらう状況) N=115

単位: %

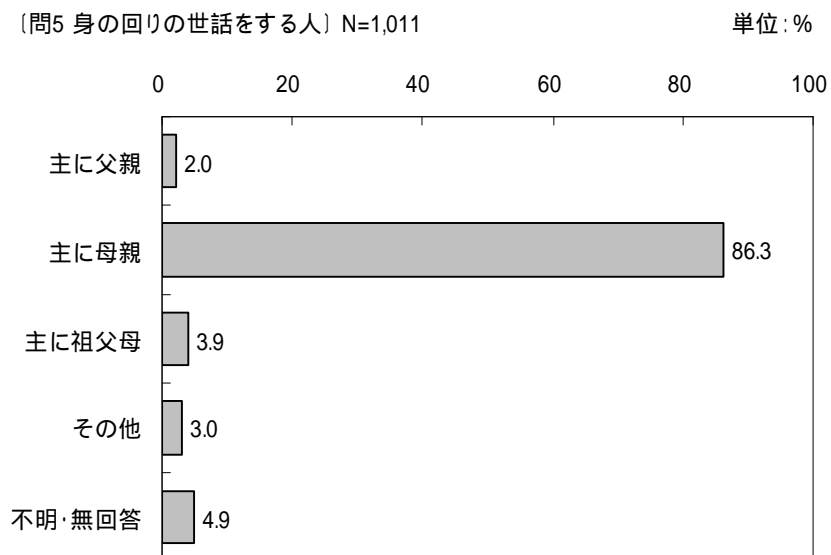


【その他の回答】

- ・ 互いに協力している
- ・ 文句は言われることもある
- ・ 子どもの精神的な面が心配
- ・ まだ預けたことはない
- ・ ほとんどないが、緊急時のみなのでわからない
- ・ 知人も忙しく、いつでも預かってもらえるとは限らない

問5 子どもの身の回りの世話などを主にしている人（SA）

子どもの身の回りの世話をする人については、「主に母親」が8割以上を占めています。

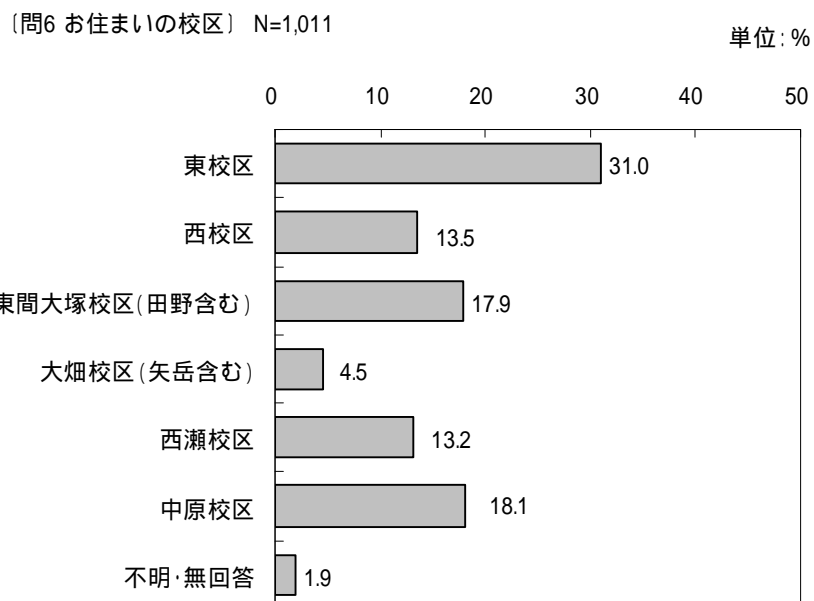


【その他の回答】

- ・ 叔父、叔母
- ・ 母と祖母が半々
- ・ 姉
- ・ 家族みんな
- ・ 父親と母親が同じくらい

問6 居住校区（SA）

居住する校区については、以下の通りとなっています。



2 保護者の就労状況について

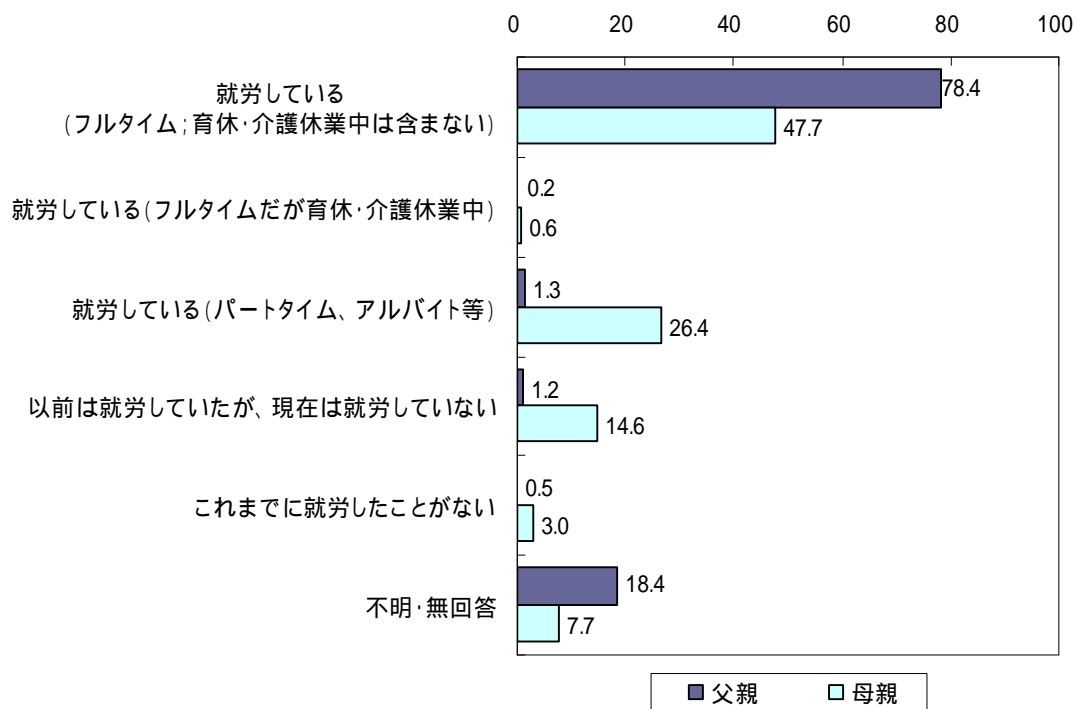
問7 保護者の就労状況 (SA・NA)

保護者の方の就労状況について、父親・母親ともに「就労している(フルタイム; 育休・介護休業中は含まない)」が最も多く、父親は78.4%、母親は47.7%を占めています。

母親については、次いで「就労している(パートタイム、アルバイト等)」が26.4%となっています。

(問7 就労状況) N=1,011

単位: %



フルタイム（育休・介護休業中は含まない）の就労状況（NA）

1週あたりの平均就労日数

就労している（フルタイム；育休・介護休業中は含まない）方の1週あたりの勤務日数について、父親では「6日」が49.6%、母親では「5日」が50.8%と最も多く、次いで父親では「5日」が38.6%、母親では「6日」が36.7%となっています。

就労日数	父親 N=793		母親 N=482	
	件数	%	件数	%
1日	1	0.1	0	0.0
2日	2	0.3	3	0.6
3日	1	0.1	3	0.6
4日	3	0.4	15	3.1
5日	306	38.6	245	50.8
6日	393	49.6	177	36.7
7日	48	6.1	17	3.5
不明・無回答	39	4.9	22	4.6

1日あたりの平均就労時間

平均就労時間について、父親では「10時間以上」が40.6%、母親では「8時間」が52.7%と最も多くなっています。

就労時間	父親 N=793		母親 N=482	
	件数	%	件数	%
1時間	0	0.0	1	0.2
2時間	0	0.0	3	0.6
3時間	1	0.1	1	0.2
4時間	1	0.1	3	0.6
5時間	2	0.3	6	1.2
6時間	6	0.8	16	3.3
7時間	14	1.8	28	5.8
8時間	251	31.7	254	52.7
9時間	140	17.7	75	15.6
10時間以上	322	40.6	73	15.1
不明・無回答	56	7.1	22	4.6

平均帰宅時間

平均帰宅時間について、父親では「19～20時」が41.5%、母親は「17～18時」が49.2%と最も多くなっています

帰宅時間	父親 N=793		母親 N=482	
	件数	%	件数	%
1～2時	7	0.9	2	0.4
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	18	2.3	20	4.1
7～8時	27	3.4	11	2.3
9～10時	12	1.5	1	0.2
11～12時	2	0.3	2	0.4
13～14時	0	0.0	1	0.2
15～16時	4	0.5	16	3.3
17～18時	202	25.5	237	49.2
19～20時	329	41.5	132	27.4
21～22時	87	11.0	6	1.2
23～24時	15	1.9	4	0.8
不明・無回答	90	11.3	50	10.4

パートタイム、アルバイト等の就労状況（NA）

1週あたりの平均就労日数

パートタイム・アルバイトの方の1週あたりの就労日数について、父親では「5日」が46.2%、母親では「5日」が44.9%と、ともに最も多くなっています

就労日数	父親 N=13		母親 N=267	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	3	1.1
2日	0	0.0	3	1.1
3日	0	0.0	17	6.4
4日	0	0.0	33	12.4
5日	6	46.2	120	44.9
6日	4	30.8	56	21.0
7日	0	0.0	5	1.9
不明・無回答	3	23.1	30	11.2

1日あたりの平均就労時間

1日あたりの就労時間について、父親では「8時間」が30.8%、母親では「6時間」が24.3%と最も多くなっています。

就労時間	父親 N=13		母親 N=267	
	件数	%	件数	%
1時間	0	0.0	2	0.7
2時間	0	0.0	4	1.5
3時間	0	0.0	8	3.0
4時間	1	7.7	31	11.6
5時間	2	15.4	56	21.0
6時間	0	0.0	65	24.3
7時間	1	7.7	38	14.2
8時間	4	30.8	26	9.7
9時間	0	0.0	5	1.9
10時間以上	1	7.7	1	0.4
不明・無回答	4	30.8	31	11.6

フルタイムへの転換希望

パートタイム・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望について、父親では「希望がある」「希望があるが予定がない」がそれぞれ30.8%と多くなっており、母親では「希望はない」が28.5%、「希望があるが予定がない」が24.7%、「希望がある」については15.0%となっています。

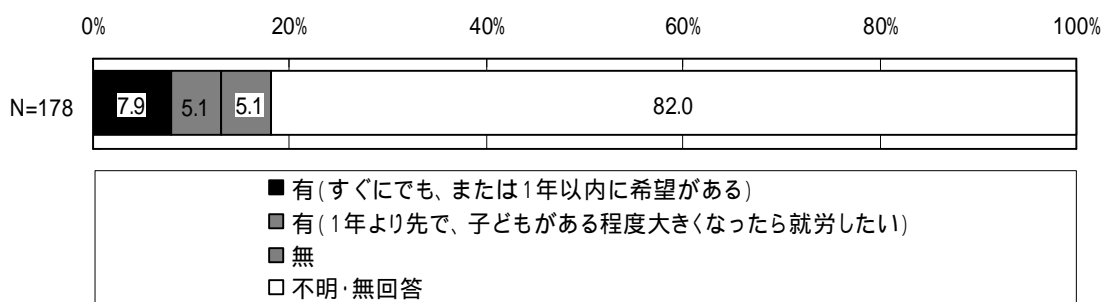
フルタイムへの 転換希望	父親 N=13		母親 N=267	
	件数	%	件数	%
希望がある	4	30.8	40	15.0
希望があるが 予定はない	4	30.8	66	24.7
希望はない	0	0.0	76	28.5
不明・無回答	5	38.5	85	31.8

[問7で「以前は就労していたが、現在は就労していない」もしくは「これまでに就労したことがない」を選んだ母親]

問8 就労希望の有無 (SA)

母親の就労希望については、不明・無回答を除くと、「有(すぐにでも、または1年以内に希望がある)」が7.9%、「有(1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい)」と「無」がともに5.1%となっています。

(問8 就労希望)

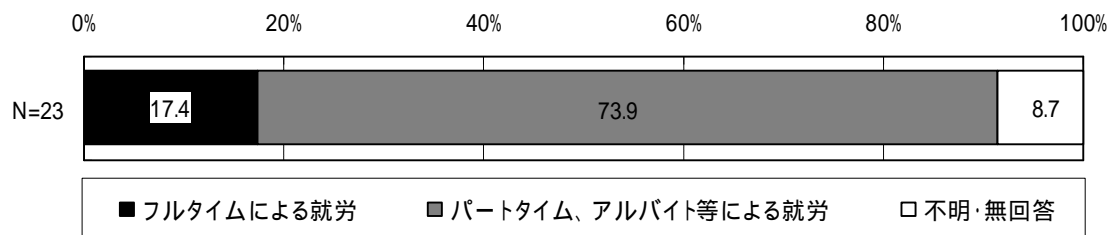


[問8で就労希望が「有」を選んだ母親]

問8-1 就労希望の形態 (SA)

母親の就労希望の形態については、「パートタイム、アルバイト等による就労」が73.9%と7割を占めています。また、「フルタイムによる就労」は17.4%となっています。

(問8-1 就労希望の形態)



希望する1週あたりの就労日数、1日あたりの就労時間

パートタイム、アルバイト等による就労での1週あたりの希望就労日数は、「5日」が52.9%、1日あたりの希望就労時間は「5時間」が47.1%で、項目の中では多くなっています。

希望就労日数	母親 N=17		希望就労時間	母親 N=17	
	件数	%		件数	%
1日	0	0.0	1時間	0	0.0
2日	0	0.0	2時間	0	0.0
3日	1	5.9	3時間	0	0.0
4日	4	23.5	4時間	3	17.6
5日	9	52.9	5時間	8	47.1
6日	1	5.9	6時間	3	17.6
7日	0	0.0	7時間	1	5.9
不明・無回答	2	11.8	8時間以上	0	0.0
			不明・無回答	2	11.8

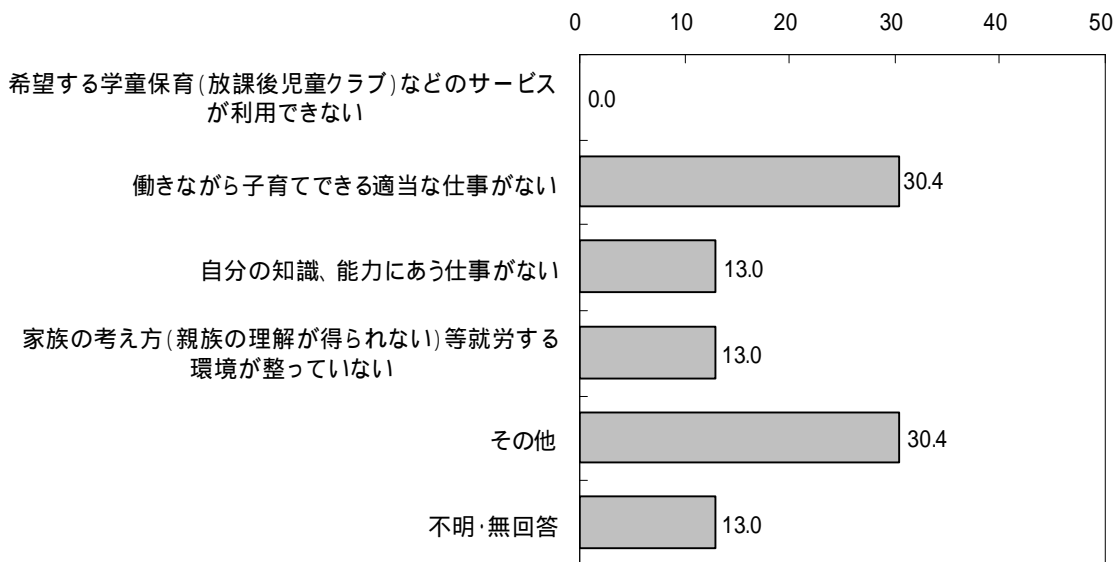
[問 8 で就労希望が「有」を選んだ母親]

問 8 -2 就労希望がありながら、現在働いていない理由 (SA)

働いていない理由について、「働きながら子育てできる適当な仕事がない」「その他」がともに 30.4% となっています。

(問8-2 働いていない理由) N=23

単位: %



【その他の回答】

- ・ 転勤の時期が不規則なため。転勤になった場合は家族で引っ越すので、職場に迷惑をかけるのでは、と不安。
- ・ 派遣先の仕事が打ち切りになった。
- ・ 就職難で、なかなか職がない。
- ・ 子どもが小さいから。
- ・ 自分自身の健康状態が良好でないため。
- ・ 近くに親戚・知人がいないため、子どもの病気等のとき、預け先がない。(あひるハウスも定員があるので)
- ・ 農業もしているし、実家の母の病院への付き添いなどがあり、仕事をしているとそう簡単に休みはもらえないと思う。
- ・ 今は子どものために家にいたいと思っている。
- ・ 家事との両立に自信がない。
- ・ 下の子が幼小、ある程度(就学するまで)は手元で育てたいため。
- ・ 祖母の世話のため。
- ・ 夏休み冬休みなどの長期休暇を考えた場合、子どもが学童保育(放課後利用)を望まなかったため(校区内の保育園を通園しなかったため)。
- ・ 祖父母宅が近くにないため勧めもあり小学校入学と同時に仕事をやめたため。

[問8で就労希望が「有（1年より先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選んだ母親]

問8 -3 就労を希望する際の子どもの年齢（NA）

就労を希望する際の子どもの年齢については、「8～9歳」が33.3%、次いで「2～3歳」「16～17歳」がともに11.1%となっています。

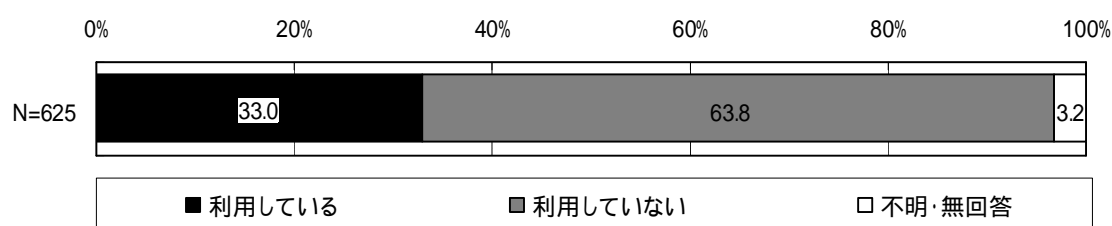
子どもが何歳になったら 就労を希望するか	就労希望「有」 N=9	
	件数	%
0～1歳	0	0.0
2～3歳	1	11.1
4～5歳	0	0.0
6～7歳	0	0.0
8～9歳	3	33.3
10～11歳	0	0.0
12～13歳	0	0.0
14～15歳	0	0.0
16～17歳	1	11.1
18歳以上	0	0.0
不明・無回答	4	44.4

3 学童保育(放課後児童クラブ)の利用について

問9 現在の学童保育の利用状況(SA)

学童保育の利用については、「利用していない」が63.8%、次いで「利用している」が33.0%となっています。

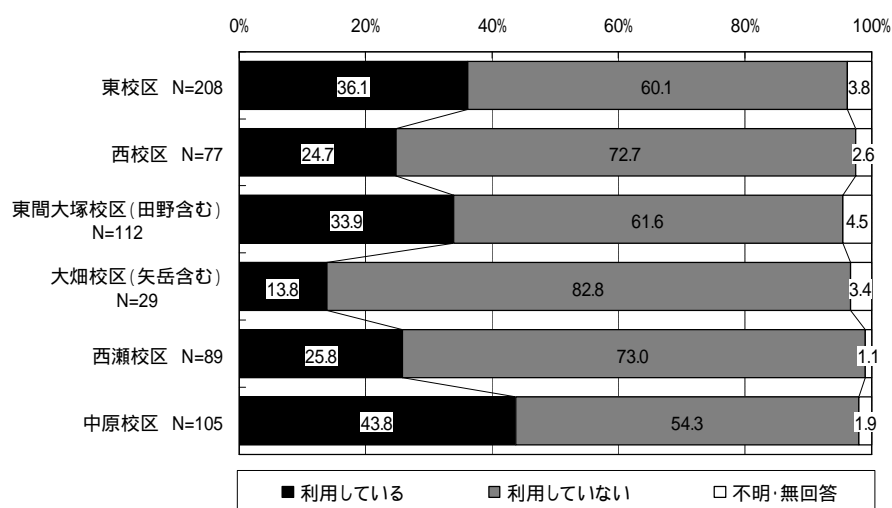
(問9 学童保育の利用状況)(小学3年以下)



現在の学童保育の利用状況 × 居住校区

学童保育の利用について居住校区別にみると、回答者数に差があるものの、「利用している」の割合は中原校区で43.8%と最も多く、次いで東校区で36.1%となっています。一方、大畑校区では「利用している」の割合が13.8%と最も低い割合となっています。

(問9 学童保育の利用状況) × (問6 居住校区)
(小学3年生以下)

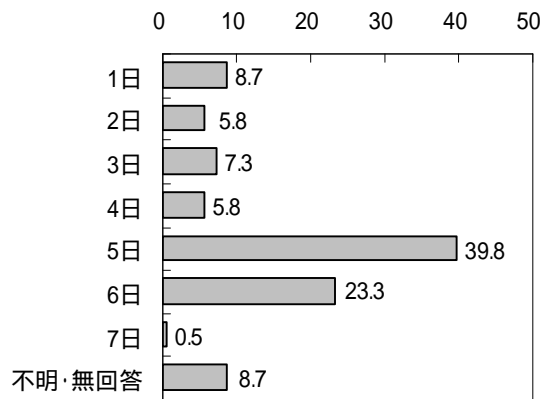


〔問9で「利用している」を選んだ方〕

問9-1 学童保育の利用日数と利用している理由 (SA・NA)

〔学童保育の利用日数〕
(小学3年生以下) N=206

単位: %



利用日数

学童保育の利用日数については、「5日」が39.8%と最も多く、次いで「6日」が23.3%となっています。

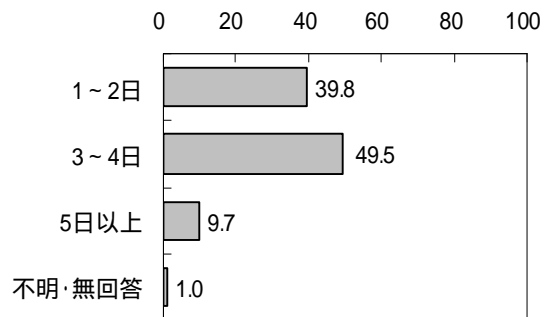
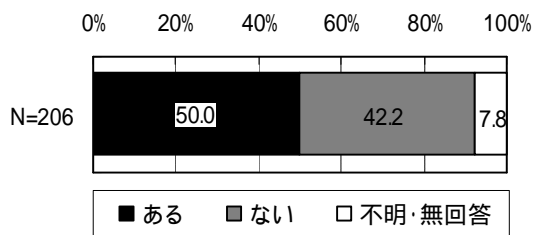
土曜日の利用と1月の利用日数

学童保育を利用している人で、土曜日の利用については、「ある(利用している)」が50.0%となっており、そのうち、1月に「3~4日」利用する割合が49.5%となっています。

〔問9-1 土曜日の利用〕
(小学3年生以下)

〔問9-1 月の利用日数〕
(小学3年生以下) N=103

単位: %

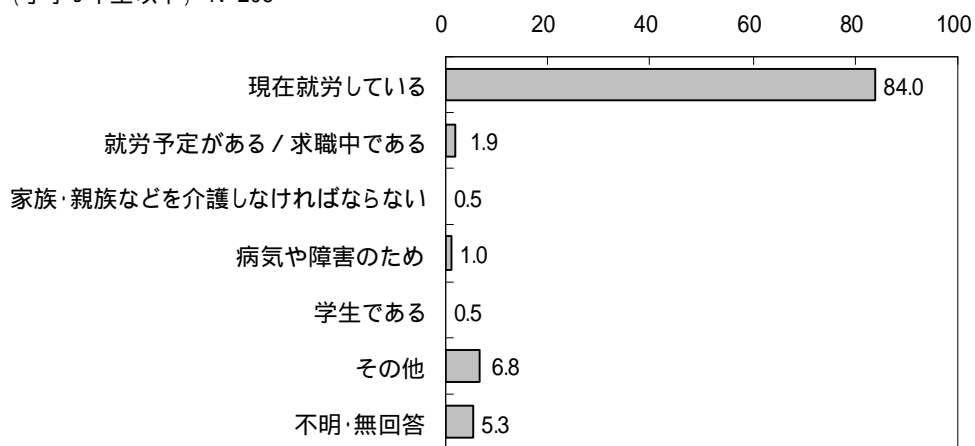


利用している理由

学童保育を利用している理由については、「現在就労している」が84.0%と最も多くなっています。

〔問9-1 利用している理由〕
(小学3年生以下) N=206

単位: %



【その他の回答】

- ・ 学校が急に早く終わる時など、近所に子どもがいないので、遊ぶため。
- ・ 平日は祖母がいるので良いが、夏休みなど長期での一日中の面倒、宿題、プールなどはできないから。
- ・ 学校が短時間授業の場合、家に両親が不在のため。
- ・ 祖父が仕事で家にいない場合、その月によって利用日は違います。全く利用しない月もあります。
- ・ 子どもが行きたがるから。楽しいと言うから。
- ・ 土曜日は7時から18時まで仕事だから。
- ・ 現在登録のみでほとんど利用してない。
- ・ 用事で熊本に行くときだけ。
- ・ 学童で英語の授業があるため。
- ・ やむをえず留守にしないといけないとき等。
- ・ 父親が東京在住のため祖父母と同居しているが、祖父は病気がちで祖母は就労しているため。
- ・ 家に誰もいない。

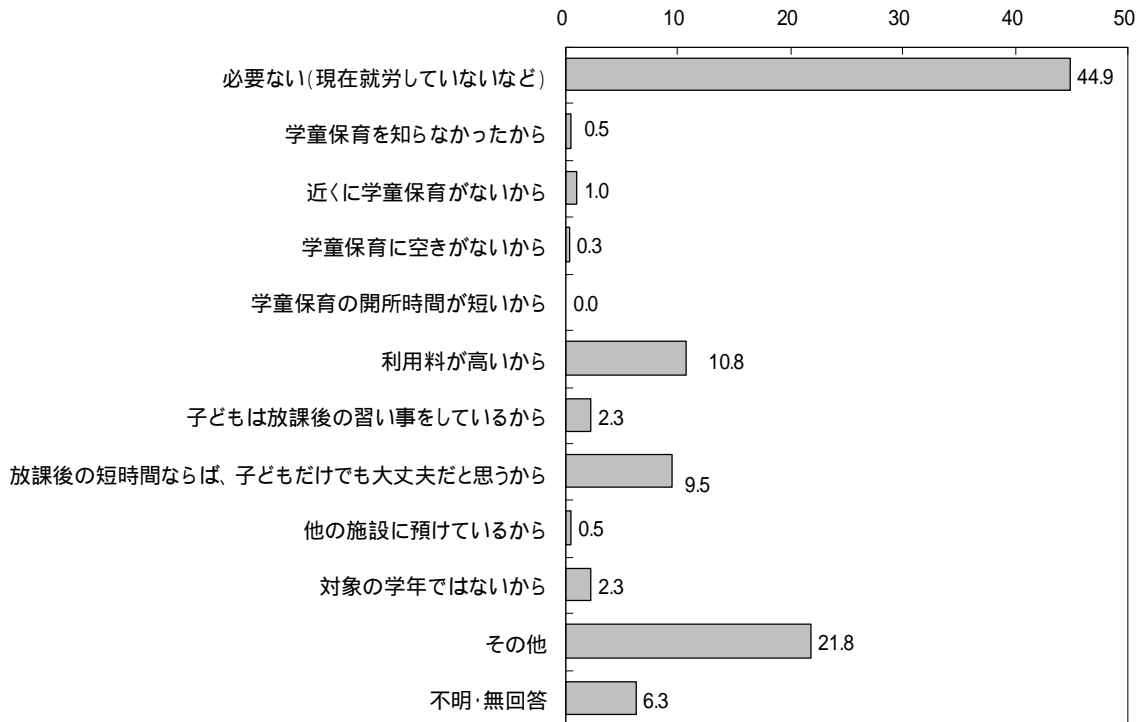
[問9で「利用していない」を選んだ方]

問9 -2 利用していない主な理由 (SA)

学童保育を利用していない理由については、「**必要ない(現在就労していないなど)**」が**44.9%**と最も多くなっています。

(問9-2 利用していない主な理由)
(小学3年生以下) N=399

単位: %



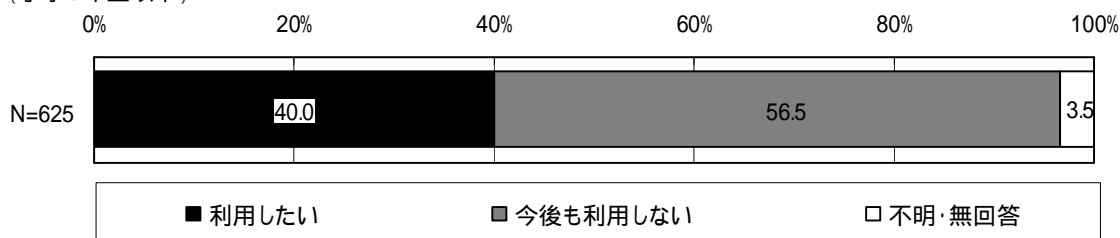
【その他の回答】

- ・ 家族や遊ぶ友人がいるから。
- ・ 子どもが行きたがらないから。
- ・ 子どもが帰宅する時間には自分も帰宅できるから。
- ・ 自営のため、仕事場と自宅が一緒なので、親の目が届くから。
- ・ 祖父母が在宅しているから。

問 10 今後の学童保育の利用意向について(SA)

学童保育の利用意向については、「今後も利用しない」が 56.5%、「利用したい」が 40.0% となっています。

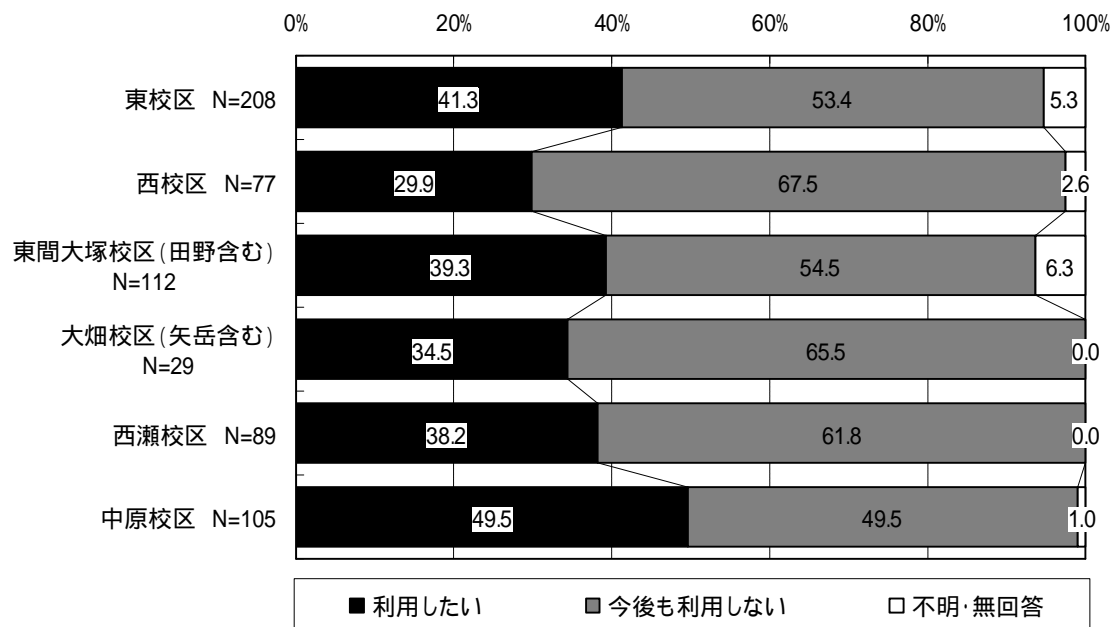
〔問10 今後、学童保育の利用意向〕
(小学3年生以下)



学童保育の利用意向 × 居住校区

学童保育の利用意向について居住校区別にみると、回答者数に差があるものの、「利用したい」の割合は中原校区で 49.5%と最も多く、次いで東校区で 41.3%となっています。一方、西校区では「利用したい」の割合が 29.9%と最も低い結果となっています

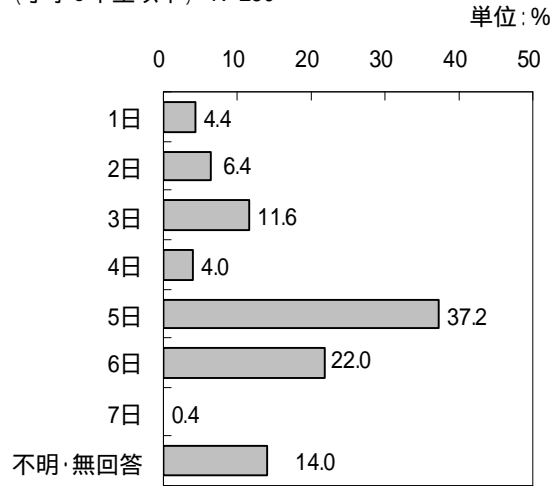
〔問10 今後の学童保育の利用意向〕 × 〔問6 居住校区〕
(小学3年生以下)



週あたりの希望利用日数

今後、学童保育の利用を希望する人で、週あたりの希望利用日数については、「5日」が37.2%と最も多く、次いで「6日」が22.0%となっています。

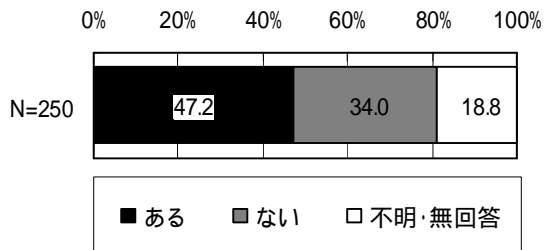
(問10 希望利用日数/週)
(小学3年生以下) N=250



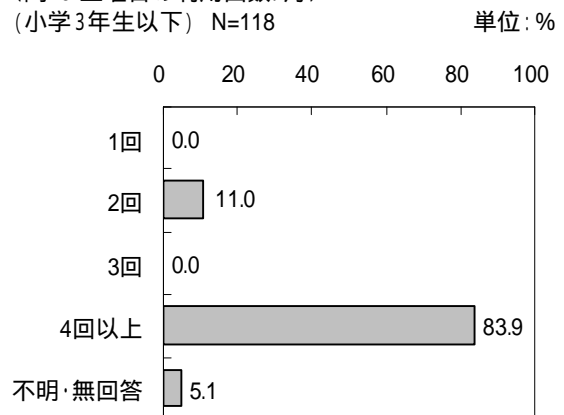
土曜日の利用希望と利用回数

今後、学童保育の利用を希望する人で、土曜日の利用希望については、「ある」が47.2%となっており、月に4回以上の利用を希望する人が多くなっています。

(問10 土曜日の利用希望)
(小学3年生以下)



(問10 土曜日の利用回数/月)
(小学3年生以下) N=118

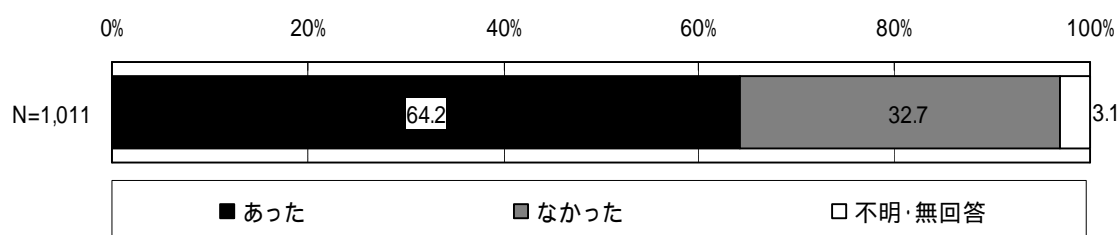


4 病気やケガのときの対応について

問 11 この1年間に、子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことがあるか(SA)

子どもが病気やケガで学校を休むことについては、「あった」が64.2%、「なかった」が32.7%となっています。

〔問11 病気やケガで学校を休んだこと〕



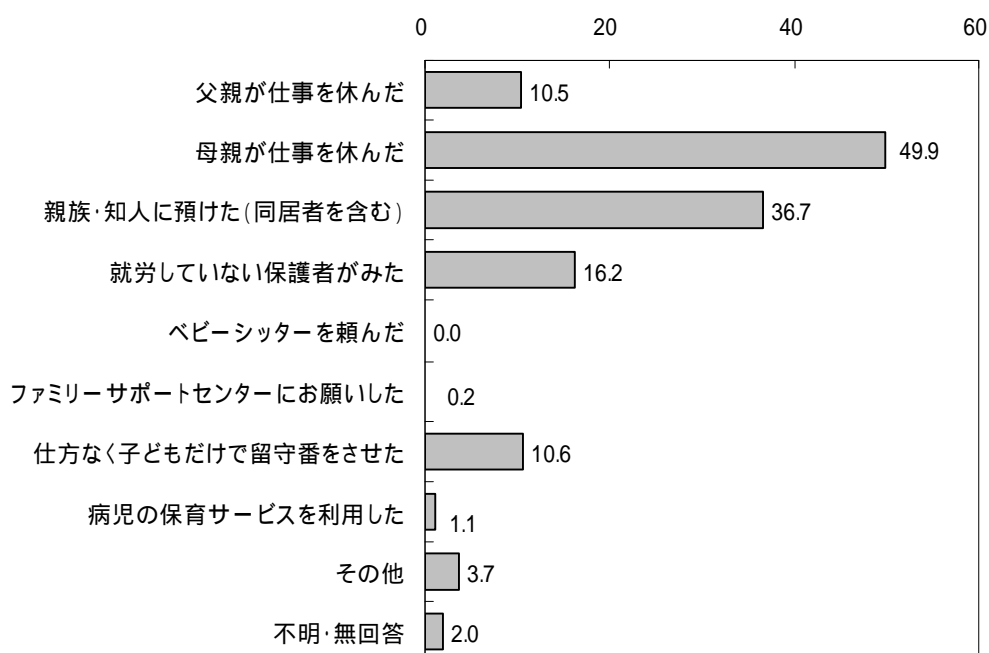
〔問 11 で「あった」を選んだ方〕

問 11-1 この1年間に子どもが病気やケガで学校を休んだり、学童保育などの預かりサービスが利用できなかった場合の対処方法とそれぞれの日数について (MA・NA)

病気やケガ時の対処方法については、「母親が仕事を休んだ」が49.9%と最も多く、次いで「親族・知人に預けた(同居者を含む)」が36.7%となっています。

〔問11-1 対処方法〕 N=649

単位: %



対処法と対処日数

対処方法・ 年間の日数	父親が休んだ N=68		母親が休んだ N=324		親族・知人に預けた (同居者を含む) N=238		就労していない 保護者がみない N=105		ベビーシッターを頼んだ N=0		ファミリーサポート センターにお願いした N=1		仕方なく 留守番をさせた N=69		病児の保育サービス を利用した N=7		その他 N=24	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	30	44.1	120	37.0	68	28.6	17	16.2	-	-	0	0.0	29	42.0	2	28.6	3
2日	18	26.5	67	20.7	53	22.3	19	18.1	-	-	0	0.0	11	15.9	0	0.0	5	20.8
3日	4	5.9	29	9.0	49	20.6	18	17.1	-	-	0	0.0	10	14.5	1	14.3	2	8.3
4日	4	5.9	26	8.0	7	2.9	5	4.8	-	-	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5日	1	1.5	23	7.1	19	8.0	6	5.7	-	-	0	0.0	3	4.3	1	14.3	3	12.5
6日	0	0.0	7	2.2	5	2.1	3	2.9	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	3	4.4	4	1.2	11	4.6	5	4.8	-	-	0	0.0	2	2.9	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	1.9	-	-	0	0.0	0	0.0	1	14.3	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	-	-	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	0	0.0	16	4.9	8	3.4	9	8.6	-	-	0	0.0	3	4.3	1	14.3	0	0.0
不明・無回答	8	11.8	32	9.9	18	7.6	21	20.0	-	-	0	0.0	11	15.9	1	14.3	11	45.8

【その他の回答】

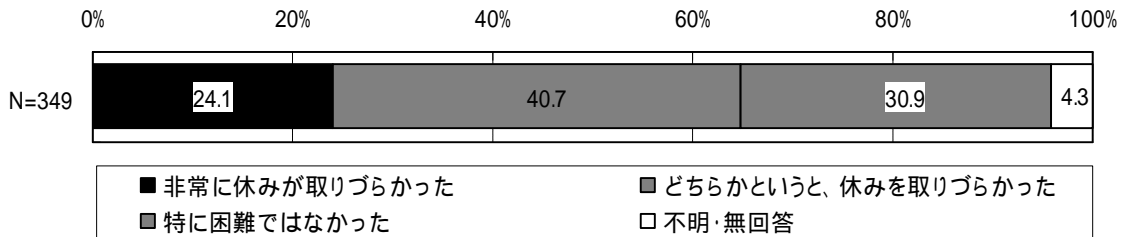
- ・ 自宅で自営業なので、母親が在宅している。
- ・ 会社へ連れて行って寝かせておいた。
- ・ たまたまその日は勤務が休みだった。
- ・ 自宅で1人休んだ。
- ・ 学校が休みのときは祖母にみてもらった。
- ・ 家に母親がいるから。
- ・ 祖母が仕事を休んだ。

[問 11 -1 で「父親が休んだ」「母親が休んだ」を選んだ方]

問 11 -2 仕事を休む場合の困難度 (SA)

仕事を休む場合の困難度については、「どちらかという、休みを取りづらかった」が 40.7% と最も多く、次いで「特に困難ではなかった」が 30.9% となっています。

(問11-2 困難度)



[問 11 -1 で「病児の保育サービスを利用した」「その他」以外を選んだ方]

問 11 -3 できれば病児保育施設等に預けたいと思った日数について (NA)

できれば病児保育施設等に預けたいと思った日数については、「10 日以上」が 5.2% と最も多く、次いで「3 日」が 4.8% となっています。

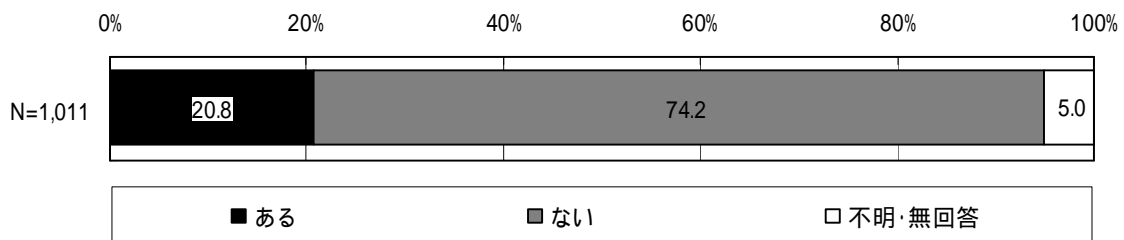
施設等に預けたいと思った日数 N=619	件数	%
1日	6	1.0
2日	16	2.6
3日	30	4.8
4日	1	0.2
5日	13	2.1
6日	1	0.2
7日	5	0.8
8日	2	0.3
9日	1	0.2
10日以上	32	5.2
不明・無回答	512	82.7

5 一時預かりについて

問12 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭やご自身の病気、あるいは就労のため、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことの有無（SA・NA）

子どもを一時的に預けたことについては、「ない」が74.2%、「ある」が20.8%となっています。

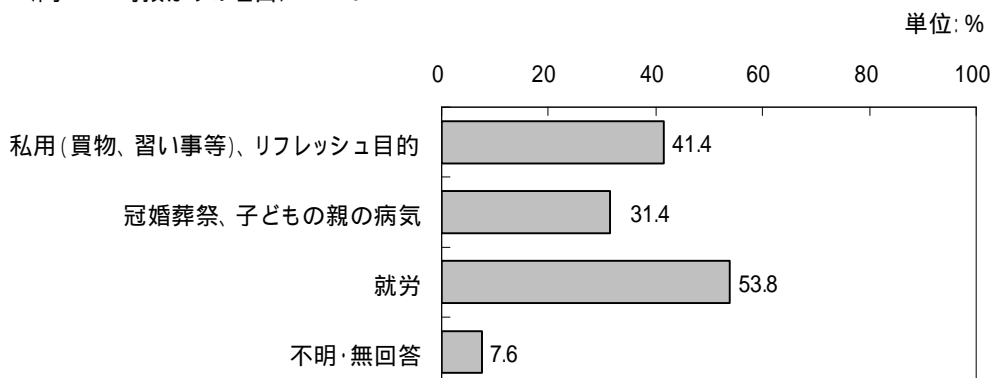
〔問12 一時預かりの状況〕



一時的に預けた理由

子どもを一時的に預けた理由については、「就労」が53.8%、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が41.4%、「冠婚葬祭、子どもの親の病気」が31.4%となっています。

〔問14 一時預かりの理由〕 N=210



年間日数と理由別対応日数

対応日数 N=210	年間 N = 210		私用、リフレッシュ 目的 N=210		冠婚葬祭、 子どもの親の病気 N=210		就労 N=210	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	32	15.2	24	11.4	30	14.3	14
2日	23	11.0	12	5.7	16	7.6	12	5.7
3日	22	10.5	14	6.7	8	3.8	11	5.2
4日	1	0.5	3	1.4	1	0.5	2	1.0
5日	20	9.5	12	5.7	6	2.9	13	6.2
6日	2	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	4	1.9	2	1.0	2	1.0	3	1.4
8日	1	0.5	1	0.5	0	0.0	3	1.4
9日	0	0.0	1	0.5	0	0.0	0	0.0
10日以上	71	33.8	19	9.0	7	3.3	42	20.0
不明・無回答	34	16.2	122	58.1	140	66.7	110	52.4

問 13 今後の利用意向(今後一時預かりサービスがあれば利用したいと思うか)(NA)

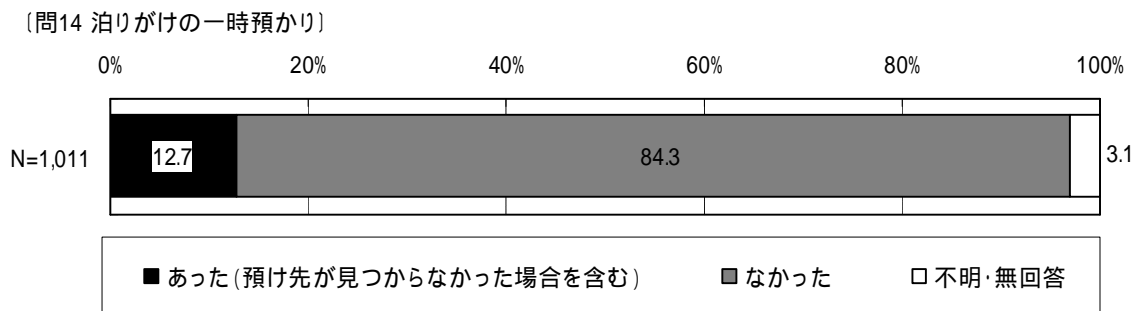
今後の一時預かりの利用意向については、「1～3日」への回答が多くなっています。

月当たりの希望の 利用日数 N=1,011	件数	%
1日	92	9.1
2日	45	4.5
3日	18	1.8
4日	5	0.5
5日	9	0.9
6日	1	0.1
7日	2	0.2
8日	1	0.1
9日	0	0.0
10日以上	6	0.6
不明・無回答	832	82.3

6 宿泊を伴う一時預かりについて

問 14 この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことの有無（SA）

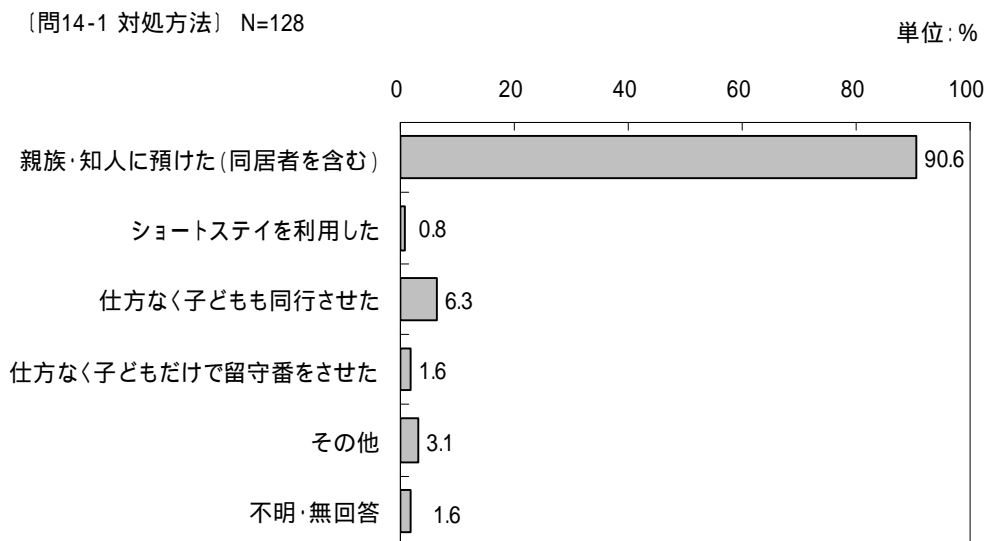
子どもを泊まりがけで家族以外に預けなければならなかったことについては、「なかった」が84.3%、「あった」が12.7%となっています。



〔問 14 で「あった (預け先が見つからなかった場合を含む)」を選んだ方〕

問 14-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数（MA・NA）

泊まりがけで預けなければならなかった場合の対処方法については、「親族・知人に預けた(同居者を含む)」が90.6%と特に多くなっています。



年間日数と理由別対応日数

対処方法・ 年間の宿泊数	親族・知人に預けた (同居者を含む)		利用した ショートステイを		同行さなくとも 仕方なく子どもも		留守番をさせたく 子どもだけを		その他	
	N=116		N=1		N=8		N=2		N=4	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	39	33.6	0	0.0	4	50.0	0	0.0	1	25.0
2泊	19	16.4	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0
3泊	12	10.3	0	0.0	1	12.5	0	0.0	0	0.0
4泊	4	3.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5泊	7	6.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6泊	1	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7泊	4	3.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0
8泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9泊	1	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10泊以上	12	10.3	0	0.0	0	0.0	1	50.0	0	0.0
不明・無回答	17	14.7	1	100.0	2	25.0	1	50.0	2	50.0

【その他の回答】

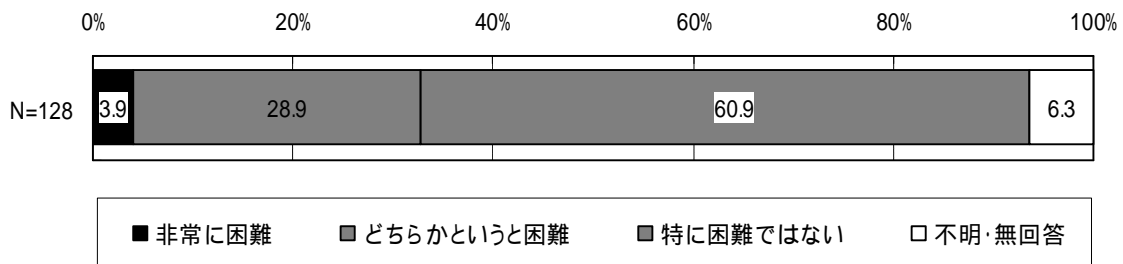
- ・ 泊まりがけの用事をあきらめた
- ・ 知人に自宅に泊まりに来てもらった

[問14で「あった(預け先が見つからなかった場合を含む)」を選んだ方]

問14-2 親族や知人に預ける場合の困難度 (SA)

泊まりがけで預けなければならなかった場合の困難度については、「特に困難ではない」が60.9%、次いで「どちらかという困難」が28.9%、「非常に困難」は3.9%となっています。

(問14-2 困難度)

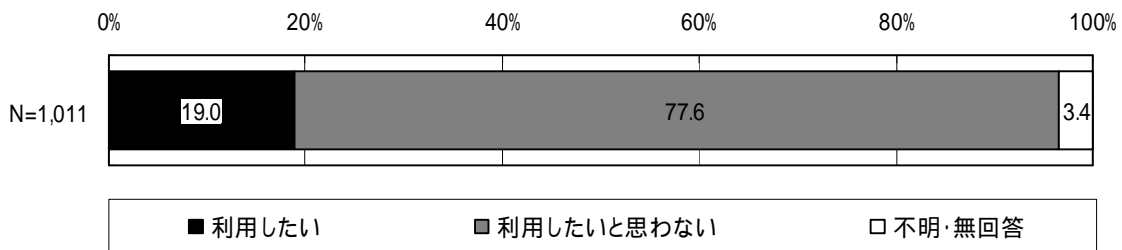


7 ファミリーサポートセンターの利用について

問 15 ファミリーサポートセンターがあれば利用したいか (SA)

ファミリーサポートセンターの利用意向については、「利用したいと思わない」が77.6%、「利用したい」は19.0%となっています。

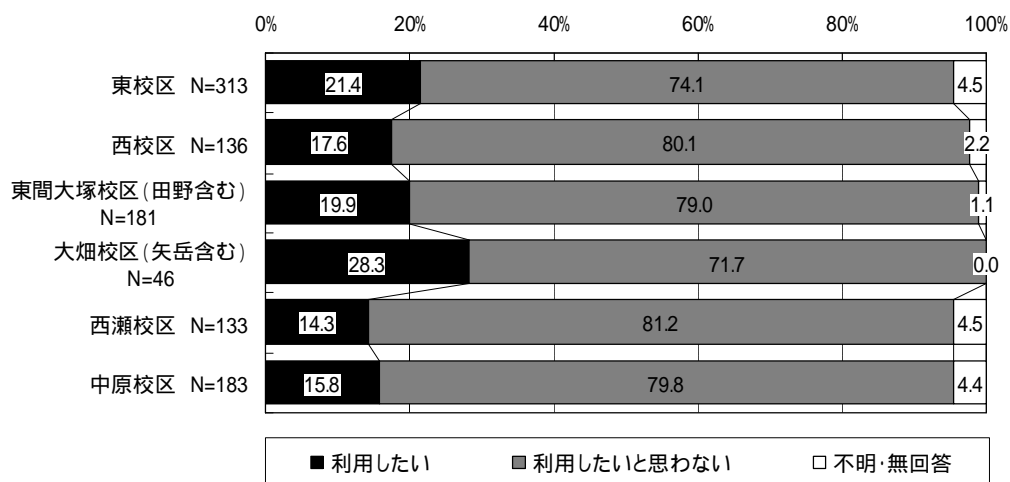
〔問15 ファミリーサポートセンターの利用意向〕



ファミリーサポートセンターの利用意向 × 居住校区

ファミリーサポートセンターの利用意向について居住校区別にみると、回答者数に差があるものの、「利用したい」の割合は大畑校区が28.3%と最も多く、次いで東校区で21.4%となっています。一方、西瀬校区では「利用したい」の割合が14.3%と最も低い結果となっています。

〔問15 ファミリーサポートセンターの利用意向〕 × 〔問6 居住校区〕



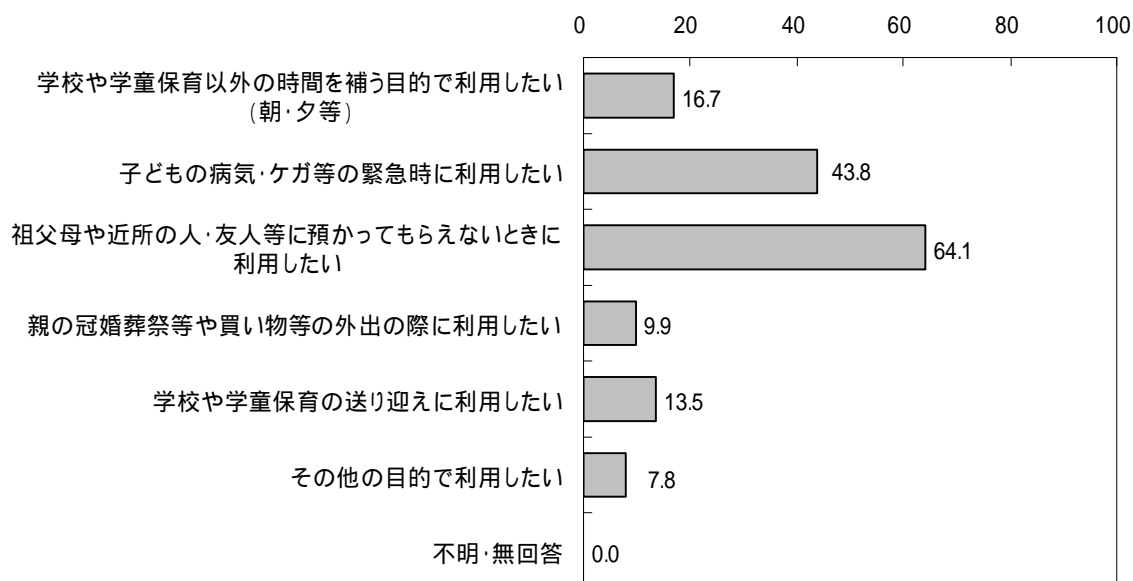
[問 15 で「利用したい」を選んだ方]

問 15-1 ファミリーサポートセンターを利用する際の目的 (MA)

ファミリーサポートセンターの利用目的については、「祖父母や近所の人・友人等に預かってもらえないときに利用したい」が64.1%と最も多く、次いで「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用したい」が43.8%となっています。

(問15-1 利用目的)N=192

単位:%



[問 15 で「利用したい」を選んだ方]

問 15-2 ファミリーサポートセンターについて希望する利用頻度 (NA)

ファミリーサポートセンターの利用頻度については、月あたりに希望する利用日数が「1～2日」といった少ない日数への希望が多くなっています。

また、1回あたりの利用時間については、「3～4時間」といった短い時間での利用希望が多くなっています。

利用頻度 N=192	月あたりの 利用日数	
	件数	%
1日	35	18.2
2日	24	12.5
3日	15	7.8
4日	15	7.8
5日	4	2.1
6日	1	0.5
7日	1	0.5
8日	0	0.0
9日	0	0.0
10日以上	9	4.7
不明・無回答	88	45.8

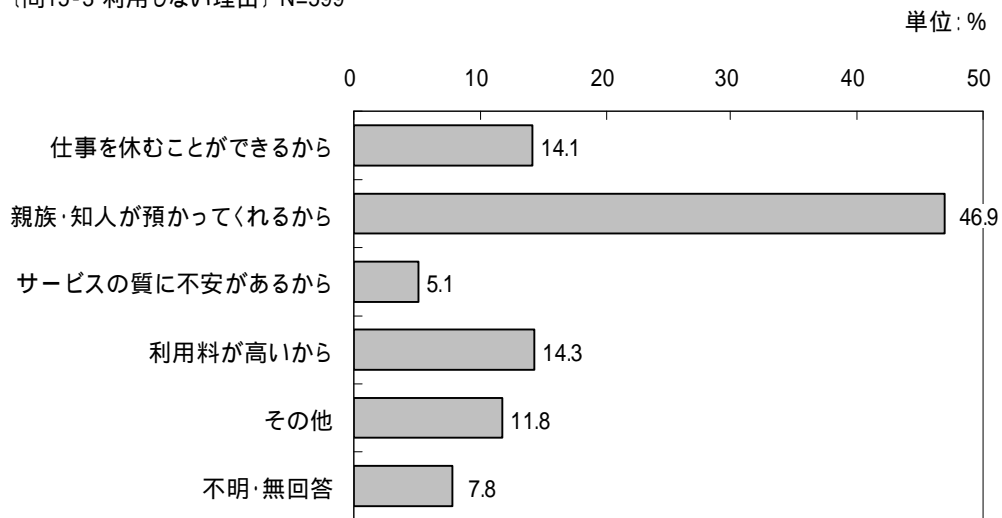
利用頻度 N=192	1回あたりの 利用時間	
	件数	%
1時間	20	10.4
2時間	0	0.0
3時間	35	18.2
4時間	20	10.4
5時間	6	3.1
6時間	0	0.0
7時間	11	5.7
8時間	5	2.6
9時間	14	7.3
10時間以上	0	0.0
不明・無回答	81	42.2

[問 15 で「利用したいと思わない」を選んだ方]

問 15-3 ファミリーサポートセンターを利用したいと思わない理由 (SA)

ファミリーサポートセンターを利用したいと思わない理由については、「親族・知人が預かってくれるから」が 46.9%と最も多く、次いで「利用料が高いから」が 14.3%、「仕事を休むことができるから」が 14.1%となっています。

(問15-3 利用しない理由) N=599



【その他の回答】

- ・ いつも母親が家にいるから。
- ・ 学校や学童以外は預けたくない。
- ・ 子どもが高学年だから。
- ・ 留守番ができるから。
- ・ 就労していないため。
- ・ 他人に預けることに不安があるから。
- ・ 必要がない。

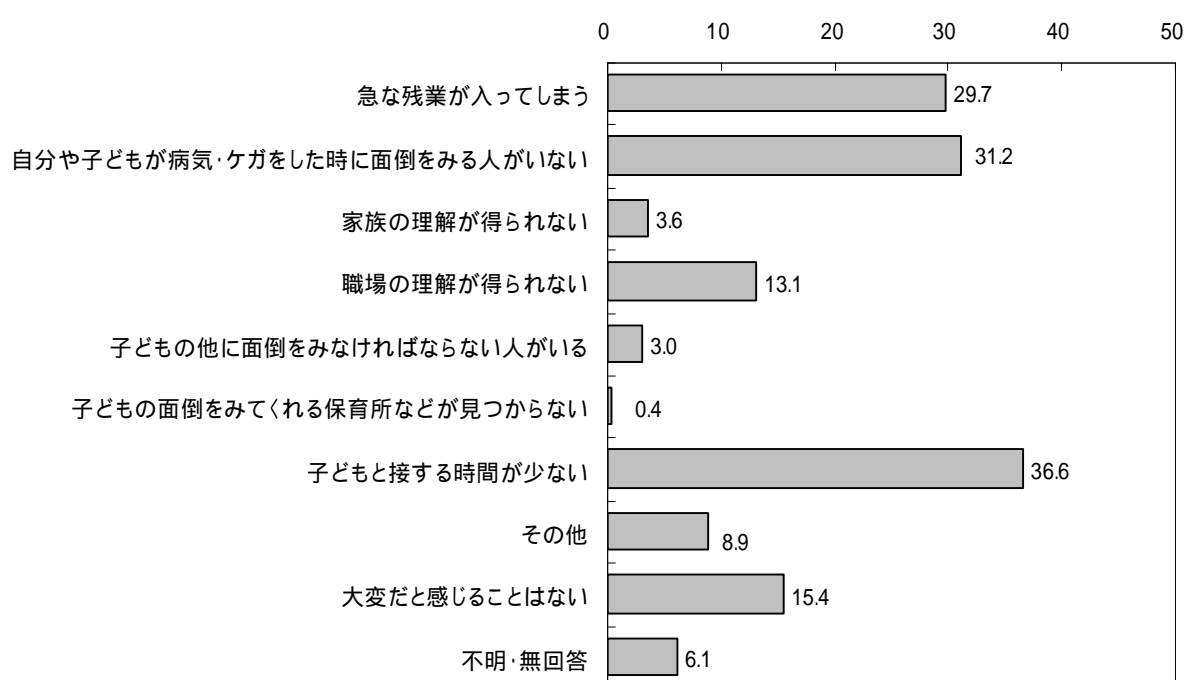
8 仕事と子育ての両立について

問 16 仕事と子育てを両立する上で大変だと感じること (MA)

仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることについては、「子どもと接する時間が少ない」が36.6%と最も多く、次いで「自分や子どもが病気・ケガをした時に面倒をみる人がいない」が31.2%、「急な残業が入ってしまう」が29.7%となっています。

(問16 仕事と子育てを両立で大変なこと) N=1,011

単位: %



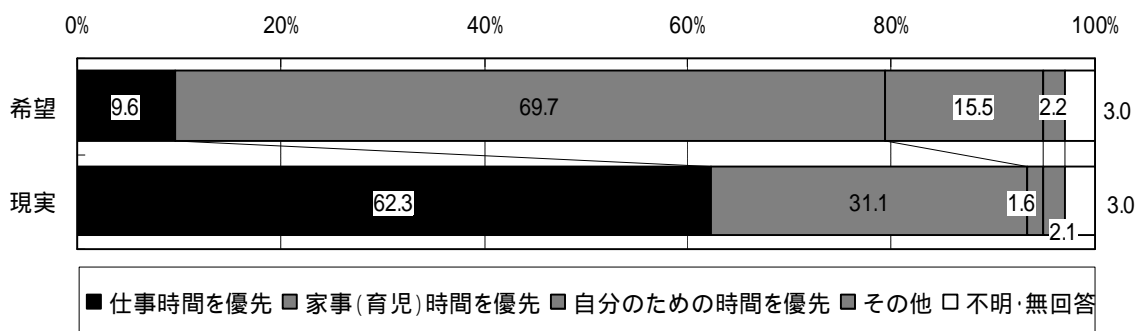
【その他の回答】

- ・ 遅くまで働けない。土日祝日に一緒にいてあげられないことが多い。
- ・ 学校行事に合わせて仕事を休めない。
- ・ 仕事を休みづらい。
- ・ 時間に余裕がなくなる。
- ・ 自分の時間がない。
- ・ 子どものことで急な休みをとれない。
- ・ 育児と家事を一人でやらなければいけないこと。
- ・ 精神的につらい。
- ・ 家事がおろそかになること。

問 17 生活の中での「仕事時間」と「家事(育児)・自分のための時間」の優先度(SA)

「仕事時間」と「家事(育児)・自分のための時間」の優先度については、希望としては「家事(育児)時間を優先」が約7割を占め、現実としては「仕事時間を優先」が約6割を占めており、「家事(育児)時間を優先」については3割程度となっています。

(問17 優先度) N=1,011



【その他の回答】

< 希望 >

- ・ 仕事はお金をもらっているので家庭をおろそかにしないよう工夫しながらも第一に考える。自分のことは後回し。
- ・ 仕事と家事育児の両立。
- ・ 学校行事や他の行事等子どものための時間。
- ・ 家族がそろうとき。
- ・ バランスがとれるように。
- ・ 時と場合で仕事か育児。

< 現実 >

- ・ 親の介護。
- ・ 仕事と家事育児で追われている。
- ・ 仕事や家事を妥協しながら。
- ・ 両立は難しく、どれも優先できない。その時々で優先するのを決めて両親で協力
- ・ 時と場合による。
- ・ バランスはとれている。

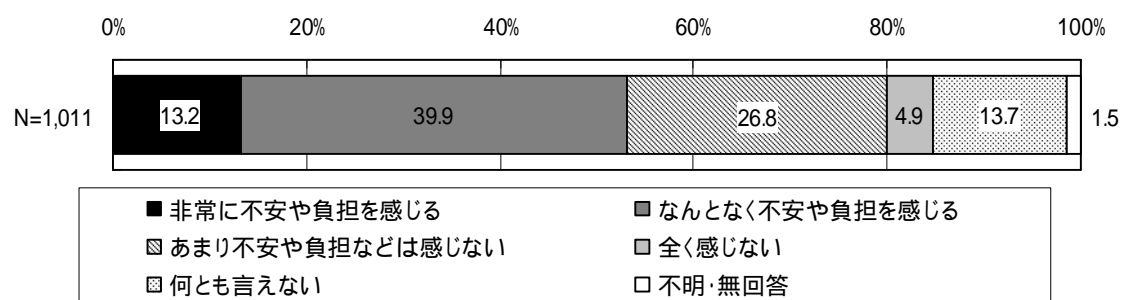
9 子育ての不安や悩みについて

問 18 子育てに関して不安感や負担感などを感じるか (SA)

子育ての不安感や負担感については、「非常に不安や負担を感じる」「なんとなく不安や負担を感じる」の『何らかの不安や負担を感じる』割合が約5割となっています。

一方、「あまり不安や負担を感じない」「全く感じない」の『不安や負担を感じない』割合は合わせて3割程度となっています。

(問18 子育てに関する不安感・負担感)

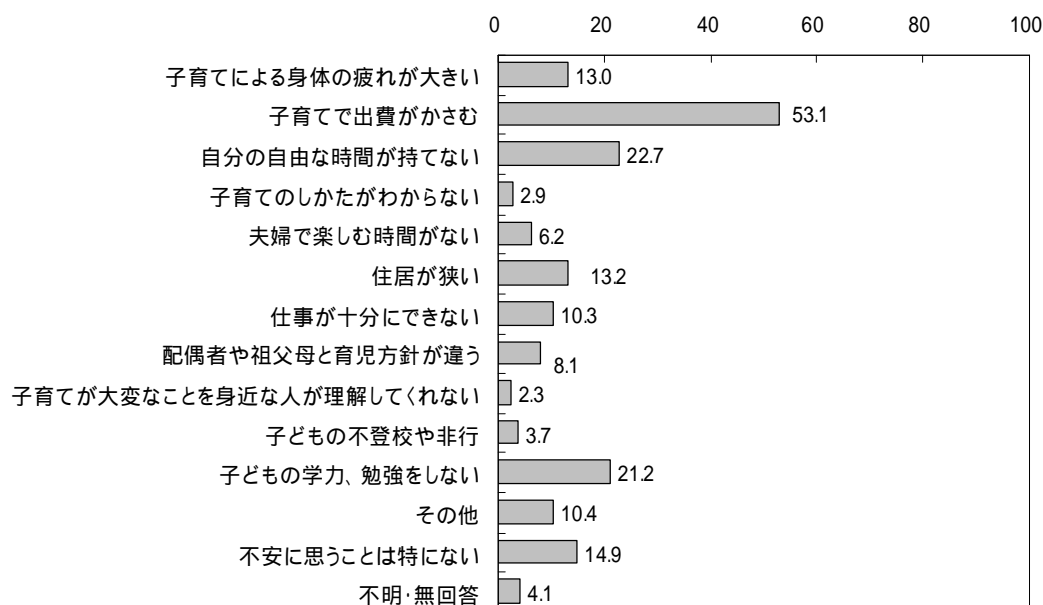


問 19 子育てをする上で、特に不安に思っていることや悩んでいること (MA)

子育てで特に不安に思っていることや悩んでいることについては、「子育てで出費がかさむ」が53.1%と最も多く、次いで「自分の自由な時間が持てない」が22.7%、「子どもの学力、勉強をしない」が21.2%となっています。

(問19 子育ての不安・悩み) N=1,011

単位: %



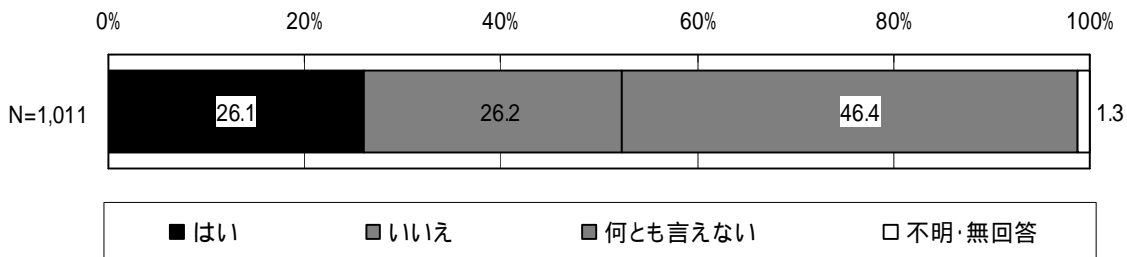
【その他の回答】

- ・ 不景気により、未来の仕事がいつどうなるかと心配
- ・ 子どもの将来
- ・ 父親がいないので、寂しい思いをさせるかもしれない
- ・ ちゃんと子育てできているのか不安
- ・ 仕事を優先せざるを得ない現状なので子どもに悲しい思いをさせてしまう
- ・ 子どもの人間関係やいじめ問題
- ・ 子どもの障害
- ・ 将来の教育費の負担を考えると不安

問 20 子育てに自信が持てないかどうか (SA)

子育てに自信が持てないことについて、「何とも言えない」が 46.4%と最も多く、次いで「いいえ (自信が持てる)」が 26.2%、「はい (自信がない)」が 26.1%となっています。

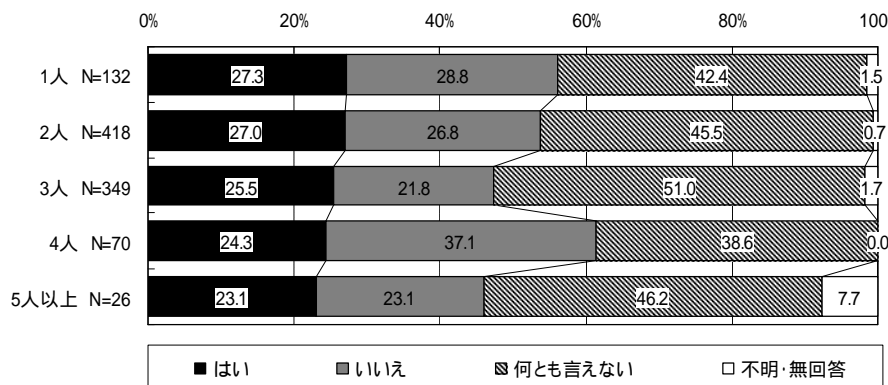
(問20 子育てに自信が持てないことがあるか)



子育てに自信が持てないかどうか × 子どもの数

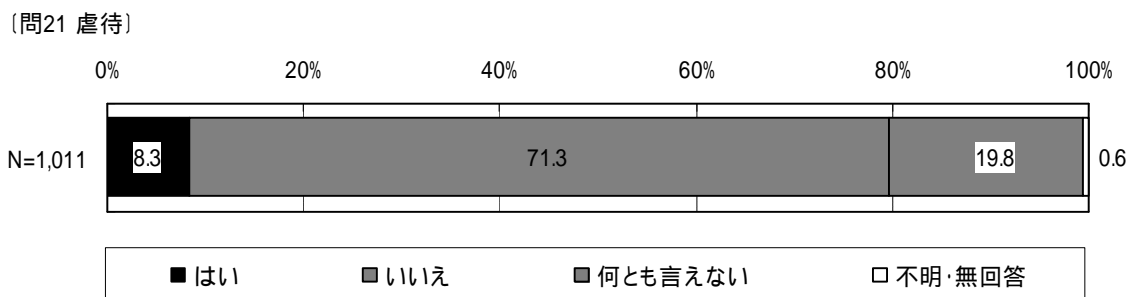
子育てに自信が持てないかどうかについて子どもの数でみると、回答者数に差があるものの、「はい」と回答したのが最も高いのは子どもの数が1人の方で 27.3%となっています。

(問20 子育てに自信が持てないことがあるか) × (問1 子どもの数)



問 21 子どもを虐待しているのではないかと思うことがあるか (SA)

子どもの虐待については、「いいえ (虐待していない)」が 71.3%と最も多く、「何とも言えない」が 19.8%、「はい (虐待していると思うことがある)」が 8.3%となっています。



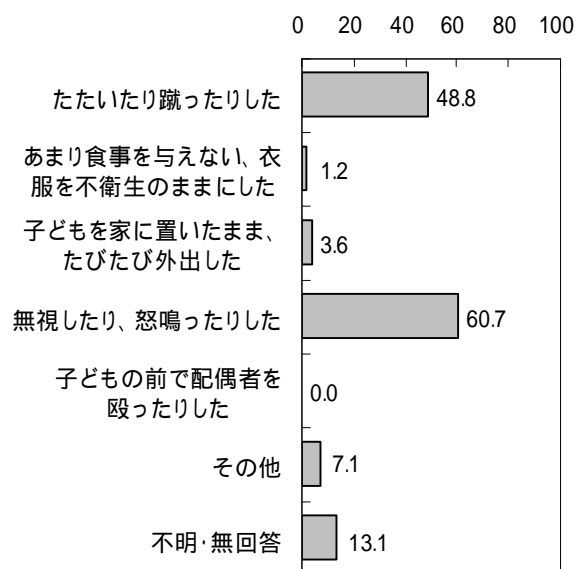
[問 21 で「はい」を選んだ方]

問 21-1 虐待しているのではないかと思う具体的な内容について (MA)

具体的な虐待内容については、「無視したり、怒鳴ったりした」が 60.7%と最も多く、次いで「たたいたり蹴ったりした」が 48.8%となっています。

(問21-1 虐待の内容) N=84

単位: %



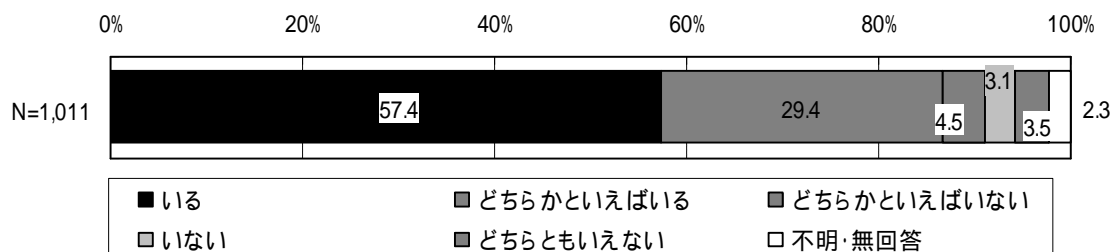
【その他の回答】

- ・ 大声で怒る、手を出す。
- ・ 傷つく言葉を言った。
- ・ 自分が体調が悪いときなど、子どもに自分の意見を押し付けたりすることがある。
- ・ 忙しいときやお金がないときに冷たくあたってしまう。学習の面倒を見ていない。
- ・ 話す事ができない (不規則な仕事のため)。
- ・ がみがみ言ってしまう。

問 22 子育てについて、気軽に相談できる人がいるか (SA)

気軽に相談できる人がいるかどうかについては、「いる」「どちらかといえばいる」を合わせた『(何らかの相談者が)いる』割合が約 9 割となっています。

〔問22 子育てに関する相談相手〕

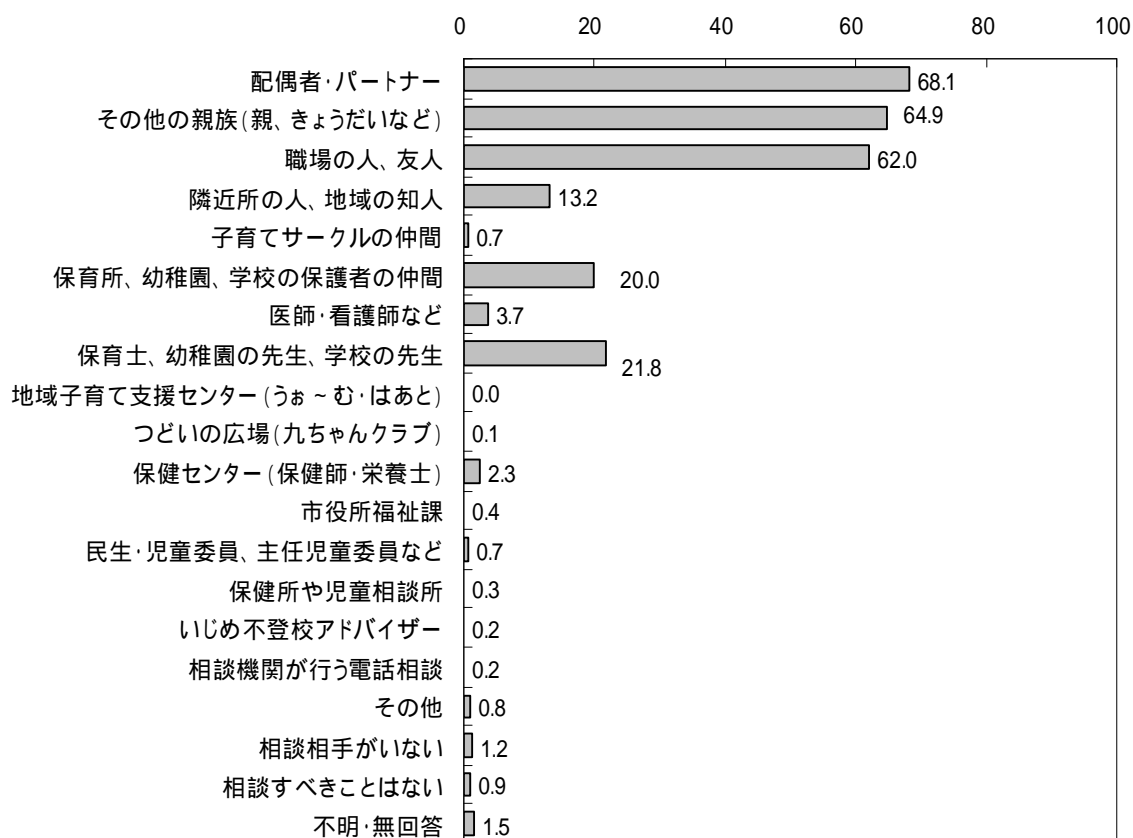


問 23 子育てに関する悩みや不安の相談相手 (MA)

悩みや不安の相談相手については、「配偶者・パートナー」が 68.1%と最も多く、次いで「その他の親族(親、きょうだいなど)」が 64.9%、「職場の人、友人」が 62.0%となっています。

〔問23 子育てに関する相談相手〕 N=1,011

単位: %



【その他の回答】

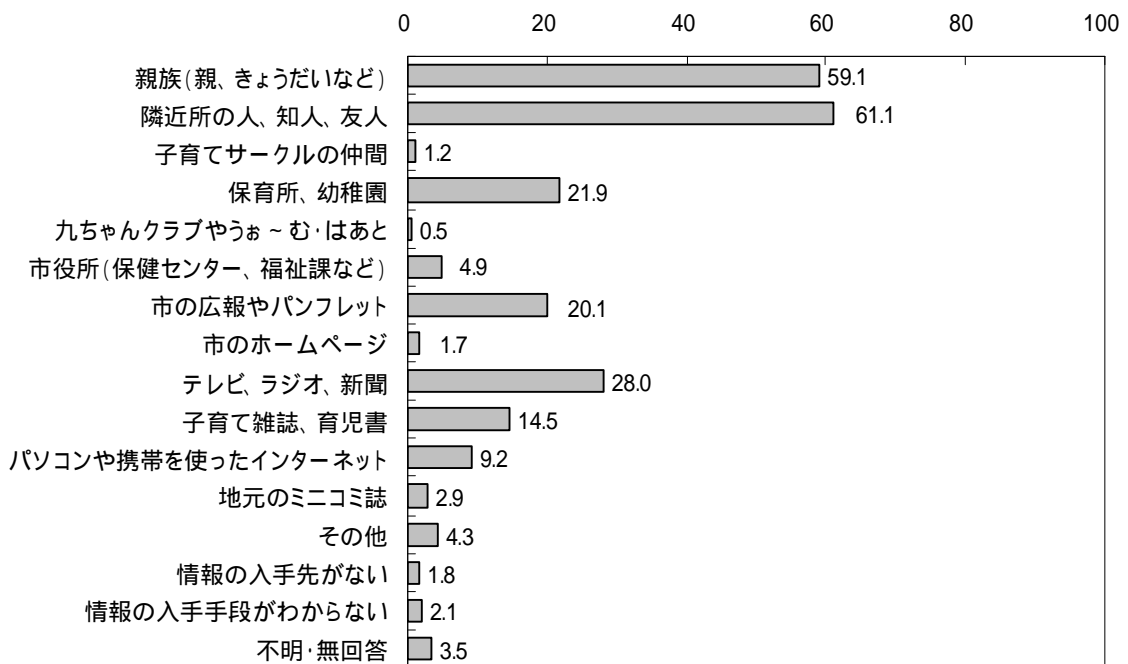
- ・ インターネット
- ・ スイスイなかまのスタッフの人
- ・ 妻の親友
- ・ 相談支援センターうぐいす
- ・ 深く不安や悩みを感じない

問 24 子育てに関する情報の入手先 (MA)

子育てに関する情報の入手先については、「隣近所の人、知人、友人」が61.1%、次いで「親族(親、きょうだいなど)」が59.1%で、特に多くなっています。

(問24 子育てに関する情報の入手先) N=1,011

単位: %



【その他の回答】

- ・ 子育てについての講演会
- ・ 自分自身の経験
- ・ スイスイなかまのスタッフ
- ・ 夫の姉に話す
- ・ 学校からもらう情報誌・機関紙など
- ・ 職場
- ・ 学校の先生
- ・ 友人相談支援員、かかりつけの医師
- ・ 学校関係保護者
- ・ 子どもの習い事先で

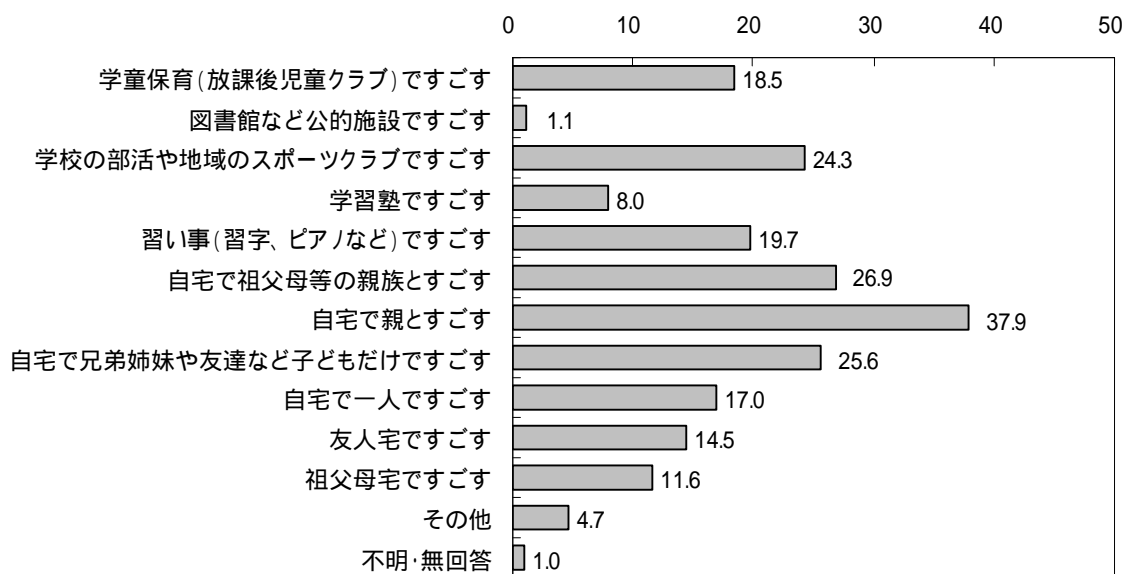
10 平日の過ごし方について

問 25 子どもは、平日の放課後、主にどこで過ごしているか (MA)

子どもの平日の過ごし方については、「自宅で親と過ごす」が 37.9%と最も多く、次いで「自宅で祖父母等の親族と過ごす」が 26.9%、「自宅で兄弟姉妹や友達など子どもだけで過ごす」が 25.6%、「学校の部活や地域のスポーツクラブで過ごす」が 24.3%となっています。

(問25 平日の放課後の過ごし方) N=1,011

単位:%

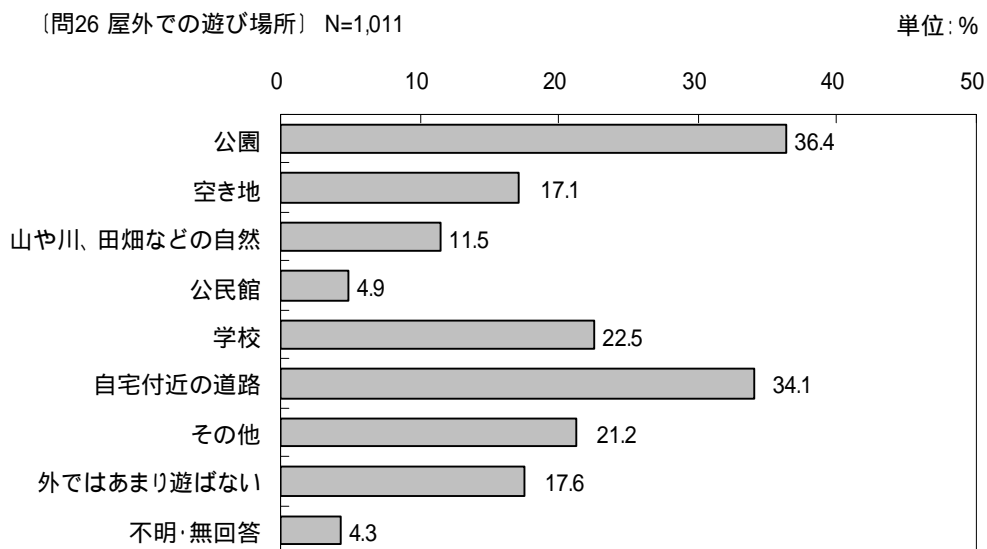


【その他の回答】

- ・ 自宅で自営業なので、必ず母親がいる。
- ・ 自宅で親と友人と過ごす。
- ・ 近所で遊ぶ。
- ・ 自宅で弟、親と過ごす。
- ・ 学校の運動場、または外で友達と遊んで過ごす。
- ・ 友人と公園などで遊ぶ。
- ・ 近所の友人と公民館で遊ぶ。
- ・ 家でテレビや宿題。
- ・ 親の職場。

問 26 日頃、子どもが屋外で遊ぶ場所について (MA)

屋外での遊び場所については、「公園」が 36.4%、次いで「自宅付近の道路」が 34.1%と、3 割以上の項目となっています。



【その他の回答】

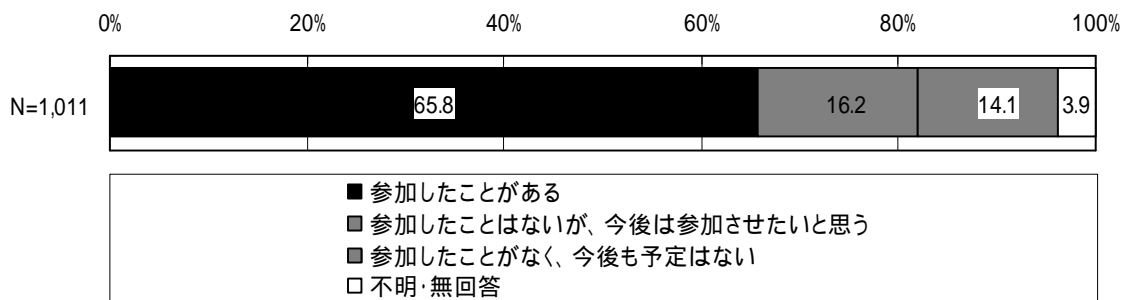
- ・ 庭
- ・ 駐車場
- ・ 図書館
- ・ 学童の体育館、運動場
- ・ 市民グラウンド
- ・ 神社

11 地域活動やグループ活動について

問 27 子どもは、学校以外の地域活動やグループ活動などに参加したことがあるか (SA)

地域活動などへの参加については、「参加したことがある」が65.8%となっています。

[問27 地域活動などの参加状況]



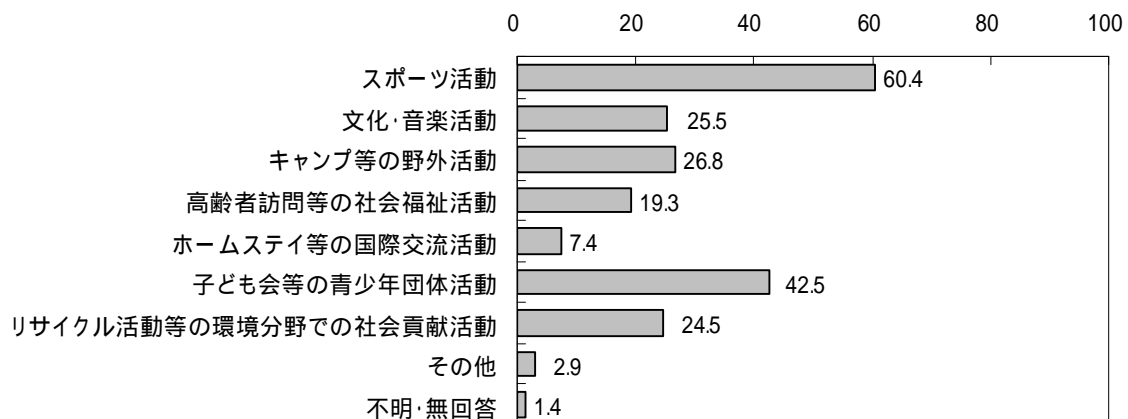
[問 27 で「参加したことがある」または「参加したことはないが、今後は参加させたいと思う」を選んだ方]

問 28 子どもが参加したことがある、もしくは今後参加させたいと思う地域活動やグループ活動の種類 (MA)

参加したことがある、もしくは今後参加を希望する地域活動やグループ活動については、「スポーツ活動」が60.4%と最も多く、次いで「子ども会等の青少年団体活動」が42.5%となっています。

[問28 参加した、もしくは今後参加させたい地域活動等] N=829

単位: %



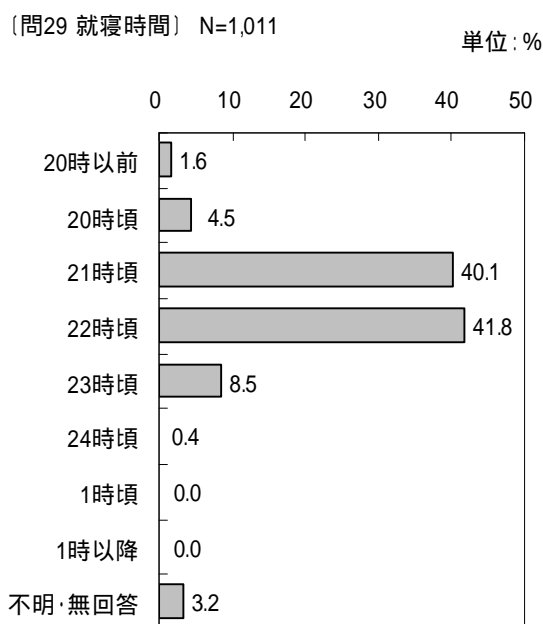
【その他の回答】

- ・ みどりの少年団（植樹）
- ・ 図書館の行事
- ・ ボランティア
- ・ 祭り
- ・ 一時的支援センター
- ・ コミセン講座
- ・ 寺子屋
- ・ リーダーシップトレセン
- ・ 指宿市との交歓会参加
- ・ 廃品回収

12 家庭生活について

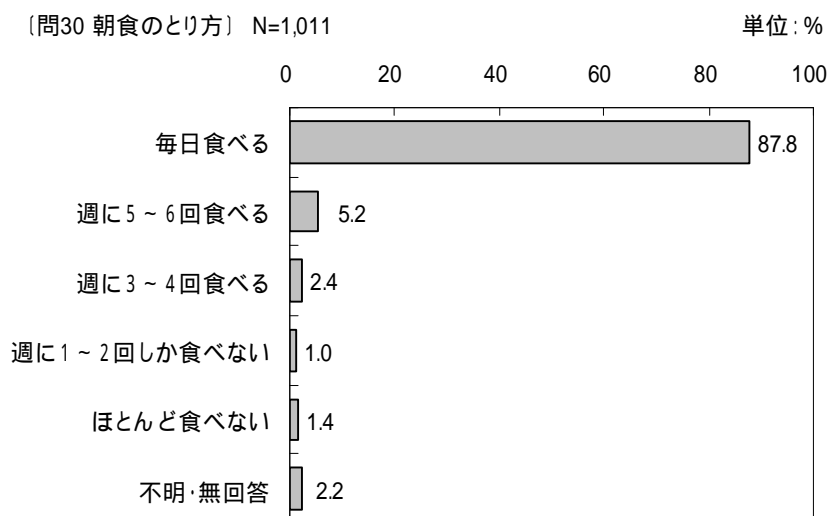
問 29 子どもの就寝時間について (SA)

子どもの就寝時間については、「21～22 時頃」が約 8 割を占めています。



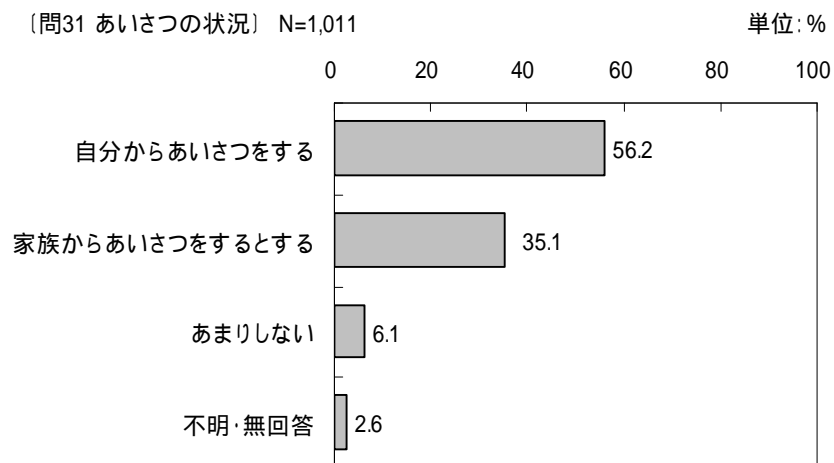
問 30 子どもの朝食のとり方の状況 (SA)

朝食について、「毎日食べる」が 87.8%で最も多くなっています。



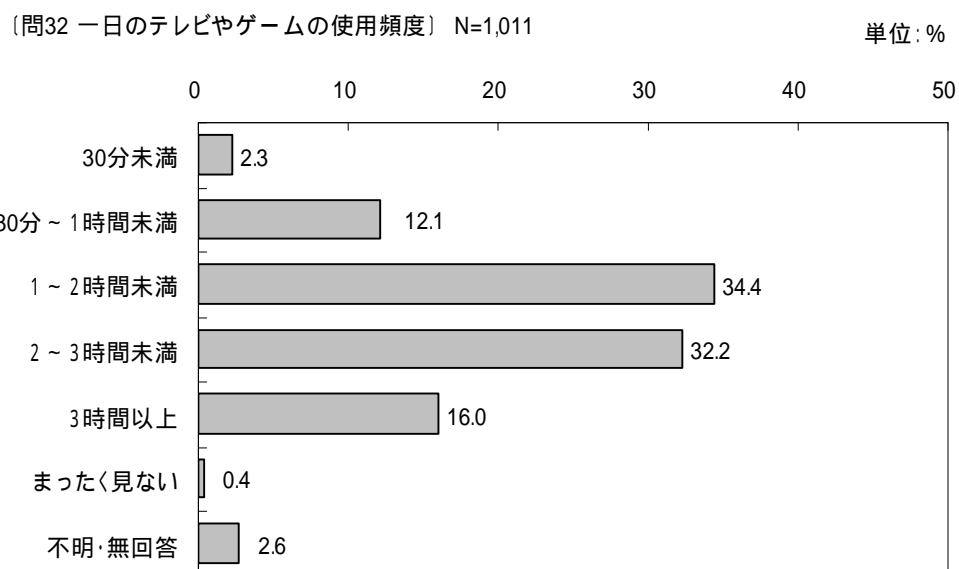
問 31 子どもは、家族とあいさつをしているか (SA)

家族とのあいさつについては、「自分からあいさつする」が56.2%、「家族からあいさつをす
るとする」が35.1%となっています。



問 32 子どもがテレビやテレビゲームを利用する1日の頻度 (SA)

テレビやテレビゲームについては、「1～2時間未満」が34.4%、「2～3時間未満」が32.2%
と、おおむね3時間未満での回答が約8割を占めています。

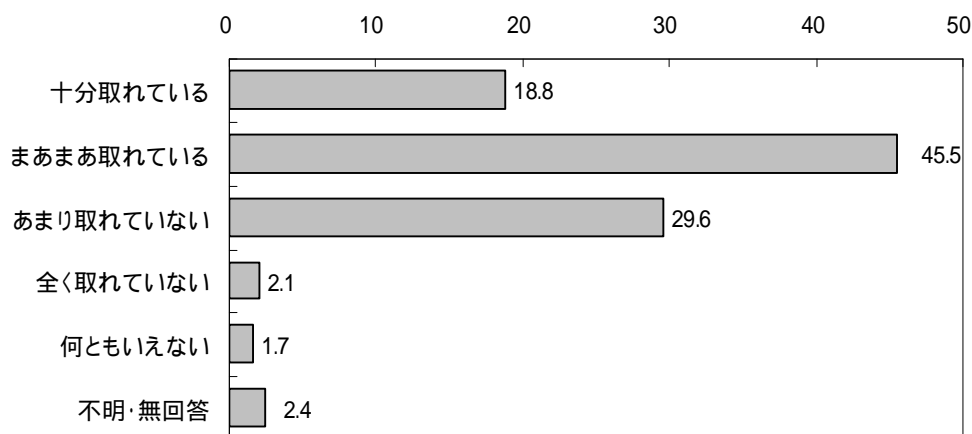


問 33 子どもと一緒に過ごす時間が十分取れていると思うか (SA)

子どもと一緒に過ごす時間については、「まあまあ取れている」が 45.5%と最も多く、次いで「あまり取れていない」が 29.6%、「十分に取れている」への回答は 18.8%となっています。

(問33 子どもと一緒に過ごす時間) N=1,011

単位: %

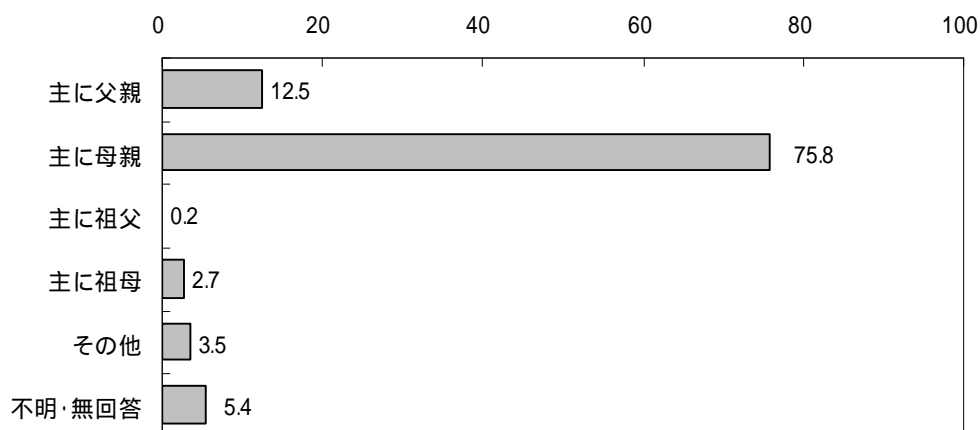


問 34 家庭での子どもの子育て・しつけに、主として関わっている人 (SA)

家庭での子育て・しつけについて関わる人は、「主に母親」が 75.8%と最も多く、「主に父親」への回答は 12.5%にとどまっています。

(問34 子育て・しつけに関わる人) N=1,011

単位: %



【その他の回答】

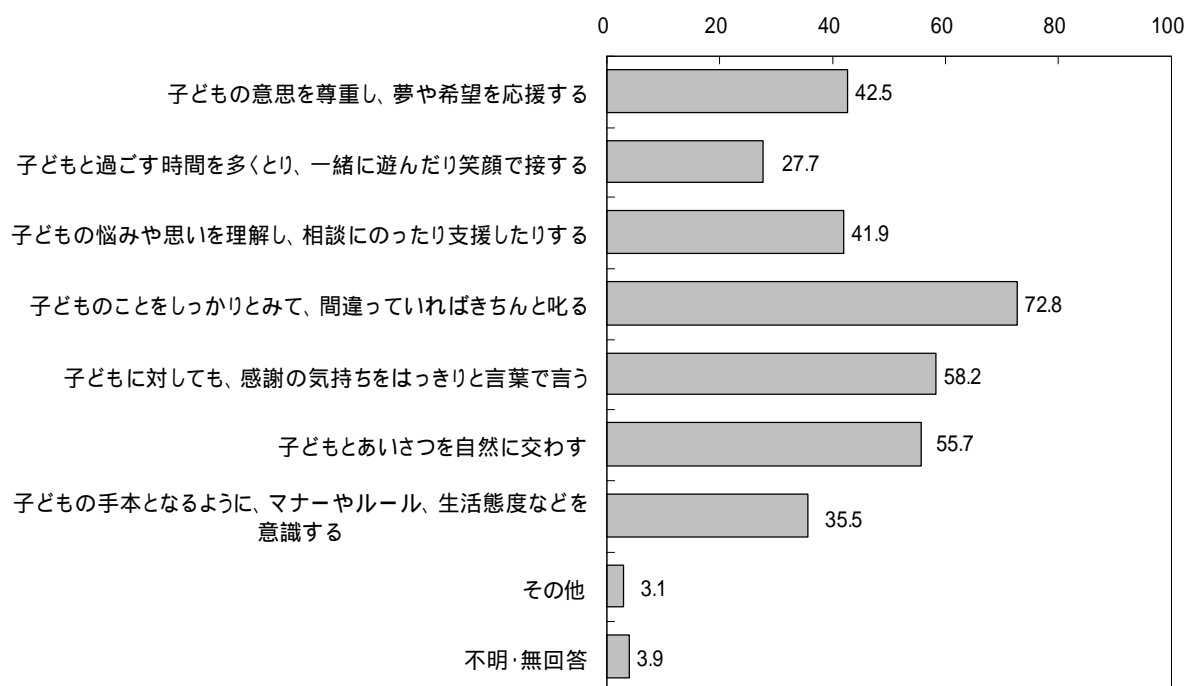
- ・ 父親と母親
- ・ 父、母、祖母の3人
- ・ 母と祖母が半々
- ・ 家族全員
- ・ 叔母

問 35 子どもに対して、十分にできていると思えること (MA)

子どもに対して、十分にできていることについては、「子どものことをしっかりとみて、間違っていればきちんと叱る」が72.8%と最も多く、次いで「子どもに対しても、感謝の気持ちをはっきりと言葉で言う」が58.2%、「子どもとあいさつを自然に交わす」が55.7%となっています。

(問35 子どもに対して、十分に出来ていると思えること) N=1,011

単位:%



【その他の回答】

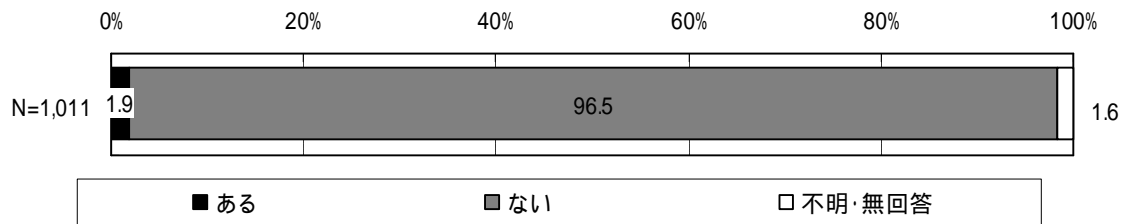
- ・ 子どもの健康管理に気をつけている (持病があるので)。
- ・ 子どもが話しにくる話をたくさん聞く。
- ・ いろいろなことに対し、必ず意味があることを教える。
- ・ 食事はみんなでそろって会話をする。
- ・ テレビゲームはしない、させない。
- ・ 勉強は二の次。まずは相手の気持ちを思いやることを理解して行ってほしい。
- ・ 何もできていないように思う。話す時間がない。
- ・ 子どもの心を育てる。
- ・ 毎日家族が一緒にいること。
- ・ できるだけ自分なりに子どものことをしているつもりだが、十分だといえるかどうかわからない。
- ・ スキンシップ
- ・ 一緒に遊ぶ時間が多くはないが、できるだけ笑顔で接している。たまにボーリング場に付き合ったり旅行をしたりする。
- ・ 家族の雰囲気をもるくする。

13 子どもの安全について

問 36 子どもが、最近1年間で痴漢・不審者などの被害にあったことがあるか (SA)

痴漢・不審者などの被害については、「ない」が96.5%で、「ある」が1.9%となっています。

(問36 最近1年間で痴漢・不審者等の被害)

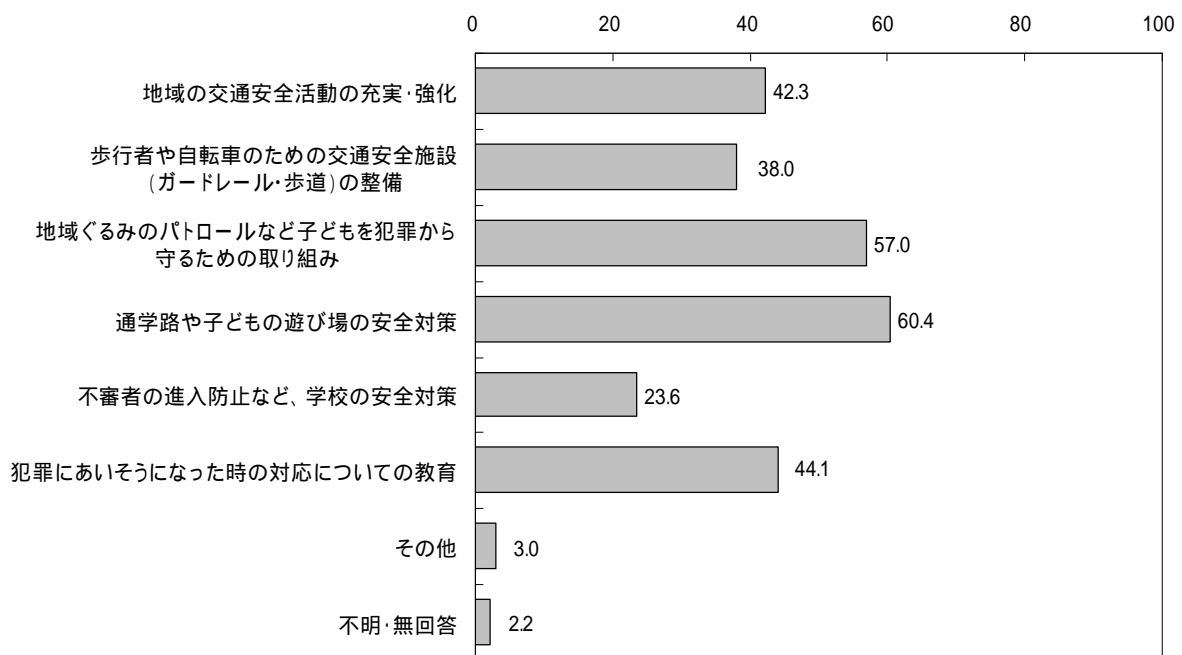


問 37 子どもの安全を守るために、特に重要と思われること (MA)

子どもの安全を守るために、特に重要と思われることについては、「通学路や子どもの遊び場の安全対策」が60.4%と最も多く、次いで「地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪から守るための取り組み」が57.0%となっています。

(問37 子どもの安全を守るために、特に重要なこと) N=1,011

単位: %



【その他の回答】

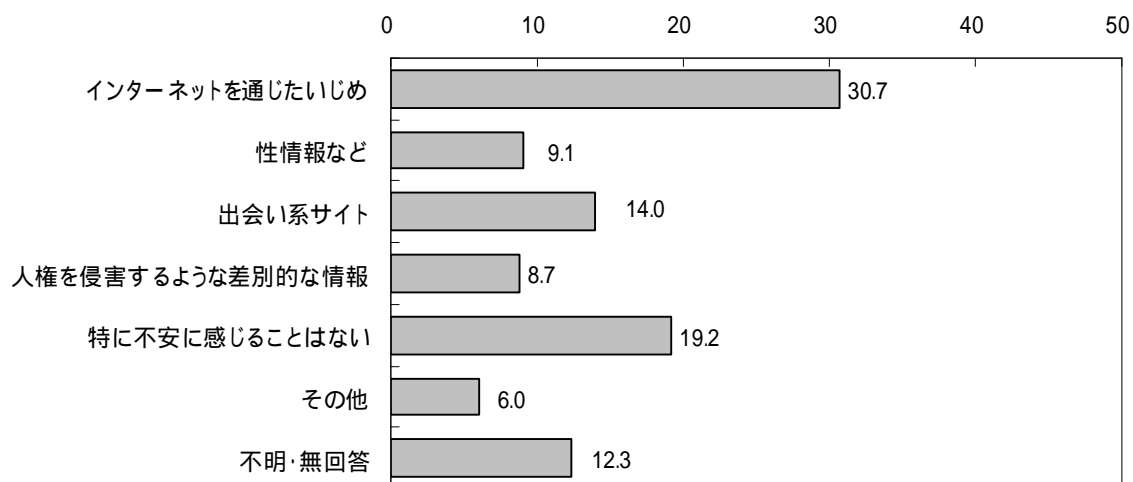
- ・ 街灯の設置。
- ・ 子どもへの交通ルール等の教育。
- ・ 不審者をつくらないまちにしてほしい。
- ・ 他の人に守ってもらうのではなく、自分の命を自分で守れるようにしていかななくてはならないと思う。横断歩道をパトロールの方に渡らせていただくのではなく、自分で確認して渡らせたほうが良いと思う。
- ・ 左右を見る子どもたちが少ない。車のマナーが悪い。
- ・ 登校していく道は車が多く高速通路を降りた道なので、スピードを出している人が多い。信号無視も多く、きちんと取り締まりをしてほしい。
- ・ 不審者などの情報公開。
- ・ 自分で自分を守るための勉強をさせたい。
- ・ 子どもが安全に遊べる広場（公園）が少ない。
- ・ 集団登校。
- ・ 通学路の整備。
- ・ 不審者を見かけたら、こういう人がいますという文章をすぐほしい。
- ・ 子どもの安全な遊び場の増加。
- ・ 学校からの細やかな通達。
- ・ 細やかな情報がほしい。
- ・ 周辺住民の危機管理の意識や子どもたちの意識。

問 38 子どものインターネットの利用について不安だと感じること（SA）

インターネットの利用について不安とを感じることは、「インターネットを通じたいじめ」が30.7%と最も多く、次いで「特に不安を感じることはない」が19.2%となっています。

〔問38 インターネットの利用について、不安だと感じること〕 N=1,011

単位：%



【その他の回答】

- ・ 外で遊んだりできる時間に、家の中でインターネット等で遊ぶこと。子どもの頃は、外でいろいろな経験・体験をしたほうが良いと思うから。
- ・ アディクト、健康被害。
- ・ 害になるもの全て。
- ・ 実際に人と付き合うことと、インターネットを通じた人付き合いをきちんと区別できるかどうか。
- ・ 有料サイト。

14 子どもを持つことや子育てについて

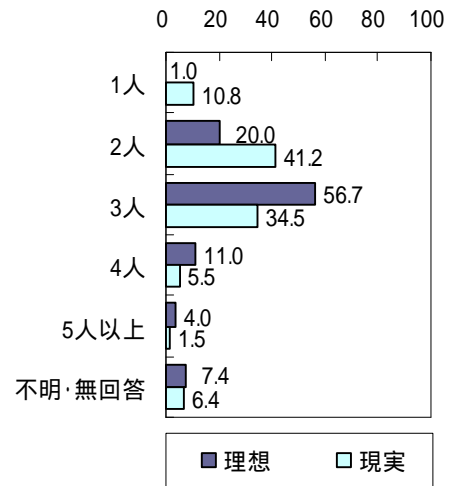
問 39 理想と現実の子どもの数について (NA)

(問39 子どもの数) N=1,011

単位: %

理想の子どもの数については、「3人」が56.7%と最も多く、現実の子どもの数は「2人」が41.2%で最も多くなっています。

理想と現実の子どもの数にやや差がある状況です。



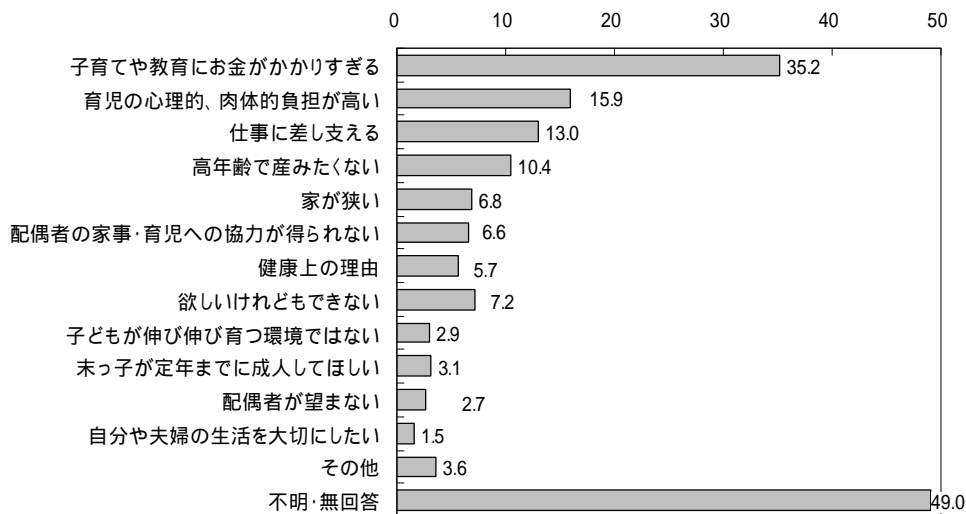
子どもの人数 理想・現実	1人		2人		3人		4人		5人以上		不明・無回答	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
理想	10	1.0	202	20.0	573	56.7	111	11.0	40	4.0	40	4.0
現実	109	10.8	417	41.2	349	34.5	56	5.5	15	1.5	65	6.4

問 40 理想より現実の子どもの数が少ない理由 (MA)

理想の子どもの数よりも現実の子どもの数の方が少ない理由については、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が35.2%と最も多く、次いで「育児の心理的、肉体的負担が高い」が15.9%、「仕事に差し支える」が13.0%となっています。

(問40 理想より現実の子供の数が少ない理由) N=1,011

単位: %



グラフ内のパーセンテージは、理想より現実の子どもの数が少ない方に限らず全回答者の意見を反映させています。

【その他の回答】

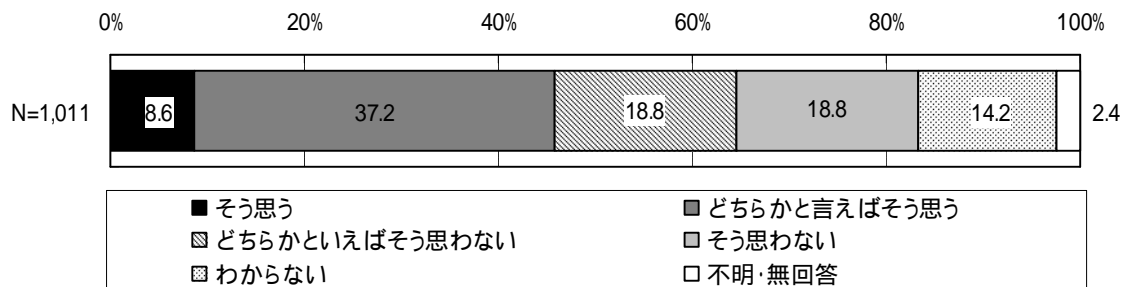
- ・ 仕事が安定するのに集中していたら、時機を逃した。
- ・ 経済的な理由。
- ・ 母子家庭なので。
- ・ 仕事との両立を考えると難しい。
- ・ 収入面での不安。
- ・ 医療費にお金がかかるため。
- ・ 配偶者が高齢。
- ・ 祖父母の協力が難しい。
- ・ 子ども優先の生活ができにくい。

問 41 人吉市は、子育てしやすいまちだと思うか (SA)

人吉市は子育てしやすいまちだと思うかについては、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた『子育てしやすいまちだと思う』割合が約5割となっています。

一方、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の『子育てしやすいまちだと思わない』割合は約4割となっています。

(問41 人吉市は、子育てしやすいまちか)



自由回答

医療・保健

- ・小学卒業までの医療費を無料化してほしい。
- ・歯科治療にお金がかかる。
- ・窓口負担をなくしてほしい。
- ・夜間診てくれる小児科がない。
- ・医療費は中学高校まで補助がほしい。
- ・月額個人負担額を 5 千円くらいにしてほしい。
- ・3 歳児検診など平日にあるため、月 1 回 19 時まで延長してほしい。
- ・病院の受付時間や診療時間が長い方が助かる（特に内科）。
- ・小児科・耳鼻科が少ない。
- ・予防接種の助成（無料・補助・半額）をしてほしい。
- ・予防接種など病院によって金額が違うので戸惑う。

保育サービス

- ・各保育園に病児室と職員を配置するか、親が休みやすい状況を作ることが大切。
- ・子どもが病気をしたときに預かってもらえる場所（あひるハウスを利用していますが、もっと受け入れ数を増やしてほしい）をもう少し増やしてほしい。
- ・保育料が高い。
- ・第 3 子保育料無料化。
- ・病児保育の充実をしてほしい（施設の増設・定員の増員など）。
- ・無認可保育所の支援。
- ・保育園の先生などはあまり変わってほしくない（環境の変化は不安）。

学童保育

- ・低料金でしてほしい。
- ・夜（24 時間）でもみてくれるところがほしい。
- ・土日祝日もあれば助かる。
- ・定員を増やしてほしい。
- ・費用や部屋の狭さなどがあり、利用しにくい。
- ・小学校 3 年生までですが、4～6 年も利用できれば助かる。
- ・子どもの扱い方やきちんとした文書が作れない学童の先生の質に疑問を感じる。
- ・活動内容の見直し（TVゲームばかりでなく、外で遊ぶように）。
- ・保育園内ではなく小学校の中に作ってほしい。

学校

- ・学校でのいじめに困っている。
- ・「ラッソ人吉」ができ、参加しやすいクラブができたことはとてもありがたい。
- ・学童クラブを設立してほしい。
- ・通学・下校時は地域だけでなく、警察の方のパトロール等も増やしてほしい。
- ・無料送迎サービスをしてほしい。
- ・登校班などを希望。
- ・給食でアレルギー対応をしてほしい。
- ・登下校時の安全のためにも黄色の帽子をかぶらせたい。
- ・制服、体操服などのリサイクルコーナーなどを設けてほしい。
- ・学校や登下校のとき、子どもたちの陰険ないじめにもっと目を向けて、厳しく注意してほしい
(先生やいじめをしている子どもの親に)。
- ・給食は助かるのでなくならないでほしい。

手当・助成

- ・第1子(1人っ子)に対してよりも、3人以上いる世帯への支援策を考えてほしい。
- ・保育園に在園している人数で減免の措置があるが人数で措置してほしい。
- ・郡部に比べて支援が少ない。
- ・出産祝い金があれば良い。
- ・教育費の補助(低金利の教育ローンや奨学金など)。
- ・金銭面で補助してほしい。
- ・母子家庭手当の改善をしてほしい。
- ・義務教育までは手当がほしい。
- ・児童手当など所得制限は不平等。
- ・手続きや申請などで時間をとられるため、思うように手続きができない。
- ・妊婦検診の助成が少ない。
- ・補助制度など出産後の手当をしてほしい。
- ・父子家庭にも手当がほしい。

遊び場・施設等

- ・図書館の扉が重く開けにくい。
- ・図書館が遠くて不便。
- ・図書館内に子どもがゆっくり本を読めるスペースがほしい。
- ・図書館をもっと大きくしてほしい。
- ・図書館に本や紙芝居が少ない。
- ・屋外の遊び場が不足している。
- ・雨天時の遊び場がほしい(体育館・コミュニティセンターなど)。
- ・公園を充実してほしい。
- ・児童館を設置してほしい。

- ・交流の場を作ってほしい。
- ・安心して遊べる公園にしてほしい。
- ・安全面に不安がある。
- ・公園の遊具の充実。
- ・郡部に比べて、学校・施設の設備に力を入れていない。
- ・市民プールに屋根がない。
- ・一日いても飽きないような場所が欲しい。
- ・子どもが親と自由に遊べる施設がほしい。
- ・市営団地の空きが少ない。

道路整備

- ・通学路の整備（街灯、歩道、横断歩道、自転車用の道路等）
- ・橋にネットや網目上の柵などをしてほしい。
- ・道路に段差がありすぎる。

職場

- ・若い人が働ける企業の誘致。
- ・企業側の子育てに対する配慮が足りない。
- ・子どもが病気のときなど休みを取りやすくしてほしい。

相談・情報

- ・相談場所がわからない。
- ・子どもを連れて行ける場所の情報が知りたい。
- ・支援場所の情報を知りたい。
- ・子連れで転入したときに子育て支援情報についてパンフレットを配る等のサポートがほしい。
- ・子育てに関する情報や地域での活動などの情報誌をもっとみんながわかるように広めてほしい（病院の待合室に置くなど）
- ・母親の心を満たす楽しい子育ての講演会・イベントなどをたくさん用意してほしい。
- ・体調を崩したときに子どもを気軽に親族以外に預ける方法や家事（買い物・食事作り・掃除）をお願いできるサービスや窓口がよくわからない。
- ・学校のHPの充実や、教育委員会の方針などもっと情報がほしい。

その他

- ・県民の日の学校の休み。
- ・0～6歳児への支援がもっと必要。
- ・官民連携のサポートを期待する。
- ・ファミリーサポートセンターがないので驚いた。
- ・再婚できるような出会いを考えてほしい。子育てにはやはり両親が必要。
- ・子育ての支援は年々良くなってきていると思うが、近隣の市町村に比べると良くないと思う。人吉市に住んでいるメリットがあまり感じられない。

- ・児童館、フリーマーケット、読み聞かせや移動図書館の徹底、ホームページ PR など、特に今はインターネットの時代なので私たちもかなり利用する機会が多いし、現在の人吉の内容ではちょっと物足りません。
- ・病後にサポートをしてくるサービスがほしい。
- ・子育てするには地域というより全国的に難しいと思う。
- ・子どもが大きくなるにつれ、携帯電話やインターネットの良くない情報が入ってきます。自分が働いてから持つ責任はありますが、料金や書き込みなども怖いと思います。私の住んでいる地域は、大人の方も子どもたちも声かけ、あいさつをよくしてくれます。感謝しています。
- ・これからもこのような調査をして頂ければ、心の声を少しずつお話していければと思います。人吉市が明るく、住みよい街になることを心から願っております。
- ・転勤で人吉に来られている方々の子育てのバックアップに力を入れていただきたい。
- ・老人会の方たちの子どもの見守りなど、とてもありがたく感謝しています。
- ・下の子どもが就学前は、一時保育を利用してとても助かっていました。
- ・子どもが障害を持っているために、預けたりするときに医療的ケアが必要で、預けることができないので、できれば看護師さんをおいてほしい。
- ・留守中の子どもの面倒をみってくれる 24 時間サポート（訪問等）できるサービスとか、預かってくれるサービスがあればいい。
- ・子どもを育てるにあたって、この先、金銭面、身体面、精神面全てに不安。
- ・計画や調査だけに留まっていることが多いので実際に行動してほしい。
- ・来年度から地域クラブの種類が増えることに大変期待している。
- ・子どもが悪いことや危ないことをしたときには叱り、良いことをしたときにはほめてくれる地域にしてほしい。
- ・親が十分に子どもにかかわるのが理想。いろいろなサービスがかえって親と子のかかわりを減らしてしまうことがあり、親の楽が子どもの幸せになるとは思えない。
- ・こういったアンケート等で、広く市民の声を聴き、それを今後に生かしていこうとする市の姿勢がありがたいです。これからはぜひよろしく願います。
- ・子育てで支援などを利用したいのですが、いろいろな手続きが忙しくてなかなかいけない。土・日にいけるといいのですが、それは無理なのでせめて6時まで窓口が開いている日が増えると助かります。
- ・全国のモデルとなるくらい思い切った「教育改革」「子育てが安心してできるまち」として市の支援と展望を期待します。子どもと老人に寄り添うことがまちの豊かさに繋がると思います。
- ・発達障害児に対する啓発・サポート事業の充実・学校などの整備が必要。
- ・親子参加の料理教室は食育にもつながるのでよい。
- ・地域活動（子ども会や町内の行事）の参加も一方的に言われることがあり、週1の休みをやりくりして入るが、精神的にも身体的にもくたくたです。家庭の団らんは望めません。まずは、行事を減らしてもらい、基本の家族団らんがないと本末転倒のような気がする。
- ・カルチャーパレス、スポーツパレスなど、公共施設（図書館）をもっと子どもたちに利用させたいが、人吉はあまりにも交通便が悪すぎる。

人吉市子育て支援についての市民ニーズ調査
【結果報告書：小学生の保護者】

発行年月 平成 21 年 3 月

発行 熊本県 人吉市

編集 人吉市 福祉生活部 福祉課 児童福祉係

〒868-8601 熊本県人吉市麓町 16 番地

電話：0966-22-2111（内線 1141, 1142） FAX：0966-24-9536